

2026
新年号

石川県 中央会報

トピックス 第77回中小企業団体全国大会（広島県）へ参加
秋の叙勲・褒章受章の方々（会員関係）



色とりどりの上生菓子
(石川県菓子工業組合)【詳細は29頁】



第77回中小企業団体全国大会(広島県)の様子【詳細は8頁】



石川県中小企業団体中央会

<https://www.icnet.or.jp>

目 次

石川県中小企業団体中央会会報 2026 新年号

【題字】故 安田隆明 初代名誉会長

年頭所感

- | | | |
|----|------|---------------------|
| 01 | 米沢 寛 | 石川県中小企業団体中央会会长 |
| 02 | 馳 浩 | 石川県知事 |
| 03 | 森 洋 | 全国中小企業団体中央会会长 |
| 04 | 竹内 学 | 株式会社商工組合中央金庫金沢支店支店長 |
-

特集コラム

- | | |
|----|---------------------------|
| 05 | 連載エッセイ 七転八倒④ |
| | 株式会社ブシロード 代表取締役社長 木谷 高明 氏 |
-

トピックス

- | | |
|----|--------------------------|
| 08 | 第 77 回中小企業団体全国大会（広島県）へ参加 |
| 10 | 秋の叙勲・褒章受章の方々（会員関係） |
-

中央会事業だより

- | | |
|----|---|
| 10 | 経済講演会並びに交流会を開催 |
| 11 | 石川県・金沢市に対し令和 8 年度予算要望を実施 |
| 11 | 外国人技能実習制度適正化講習会を開催 |
| 12 | DX 推進セミナー（実践編）を開催 |
| 12 | 2025 年度組合青年部全国講習会（岩手県）へ参加 |
| 13 | 石川県中小企業青年中央会 福利厚生事業を開催 |
| 13 | 石川県中小企業青年中央会 視察研修事業を開催 |
| 14 | 石川県中小企業団体中央会女性部
組合女性部活動訪問事業（能登地区）を開催 |
| 14 | 復興支援事業～組合まつり in TOKYO への出展 |
| 15 | レディース中央会 2025 全国フォーラム in あいちへ参加 |
| 15 | 令和 7 年度中小企業組合検定試験を実施 |
| 16 | 県内の情報連絡員報告（10 月） |
| 18 | ものづくり補助金成果事例集のご紹介 |
-

組合運営

- | | |
|----|--|
| 27 | 組合運営相談室 Q & A
「員外監事について」
「員外理事の定めのない組合が員外理事を置くことの可否について」 |
|----|--|
-

お知らせ

- | | |
|----|---|
| 28 | 令和 8 年度石川県中央会会长表彰並びに
石川県知事表彰に係る被表彰候補者の推薦について |
| 29 | 会報読者アンケート プレゼントクイズ当選者発表！ |
| 29 | くみW a i 広場（石川県菓子工業組合） |
| 61 | From 編集室 |
-

- | | |
|----|------|
| 33 | 年賀広告 |
|----|------|



年頭所感

米沢 寛 石川県中小企業団体中央会会长

令和8年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

能登半島地震が発生して2年、この間、豪雨に見舞われるなど度重なる災害により能登地域の復旧作業が計画通り進まず、被災地の方々はもどかしさに苛まれているのではないかと慮るとともに改めて自然災害の脅威を痛感しています。

今もなお、被災地域では懸命の復旧・復興作業が休むことなく続けられ、一歩ずつ着実に前進しています。

他方で昨年は、円安や大阪・関西万博の開催などによってインバウンドが増加したことで金沢市を中心に賑わいを見せておりましたが、ここにきて国際情勢の不安定要因が増してきたことから、今後の状況は不透明な様相となっています。

また、中小企業における経済環境においても、ガソリンや軽油に含まれている暫定税率の廃止により燃料価格が下がったとはいえ、依然としてエネルギーと原材料価格は円安や国際情勢の影響により高値が続き、製造コストは上昇し、さらに、働き手不足の深刻化、最低賃金の大幅な引き上げ等、企業経営には課題が山積しています。こうした厳しい環境の中にあっても中小企業の発展・成長のため、積極的な経営基盤の強化を図り、デジタルやDX技術を活用した新たなビジネスモデルの構築、生産性の向上及び適正な価格転嫁実現の推進、そして物価上昇に負けない持続的な賃上げなどが必要不可欠であります。

そのために省力化・省人化対策として、従来から行っているものづくり補助金や省力化補助金の事務局として、業務の効率化をこれまで以上に図るとともに、賃上げの原資となる利益を確保するための価格転嫁を進めるため、唯一独占禁止法（カルテル）の適用除外となる組合独自の制度、「団体協約」の普及推進に努めることで価格転嫁等、中小零細企業の取引条件の適正化に努めてまいります。

本会といたしましては、昨年12月に設立70年を迎えたことを期に、原点に立ち返り連携組織の有効性を前面に打ち出し、被災地域をはじめ、県内中小企業の成長・発展に寄与するために行政をはじめ関係機関と連携し、会員の皆様に寄り添った支援を誠実に推進していく所存です。

結びに、本年は「午年」であります。馬が力強く駆け抜けるように新しい年が会員の皆さんにとって、明るい希望と展望を持ち、まっすぐ前に進むことができる確かな一年になるよう心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



災害からの復旧・復興と成長する 産業づくりに向けて

馳 浩 石川県知事

明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

県政史上未曾有の大災害となった令和6年能登半島地震の発生から2年、令和6年奥能登豪雨からは1年3ヶ月余りが経過しました。これまで県内外の皆様からいただいた多大なるご支援に対して、改めて御礼申し上げます。

県では、各種インフラの応急復旧はもとより、被災された方々の生活再建や、事業者の生業の再建へ向けた取組を着実に進めてまいりました。引き続き、国、市町、関係団体等と緊密に連携し、一日も早い復興に向けて、様々な課題に全力を挙げて取り組んでまいります。

さて、本県の最低賃金につきましては、過去最大となる70円の引上げが適用されました。最低賃金の引上げは、賃金水準の底上げや人材確保の観点から重要である一方、物価高騰が続く中、中小事業者、とりわけ被災事業者にとっては大きな負担であることから、中小企業・小規模事業者が行う賃上げに向けた環境整備への支援とともに、被災した小規模事業者の賃上げに対する直接的な支援を実施しております。とりわけ、被災事業者への支援については、中小企業を対象に加えるなど、要件を大幅に緩和したところであり、引き続き、県内事業者に支援が行き渡るよう周知に取り組んでまいります。

米国関税対策として、昨年7月に創設した経営安定支援融資の米国関税枠につきましては、先行きへの懸念や受注への影響により、多くの県内企業にご利用いただいております。引き続き、専門家派遣や金融支援などを通じて、県内企業のセーフティネット対策に万全を期してまいります。

また、人手不足への対応につきましては、ILACによる県内企業のマッチング支援を強化するほか、就職促進イベントや関係機関との連携強化などを通じて、外国人や副業人材などを含む多様な人材の確保を進め、誰もがそれぞれの希望に応じて就業・活躍できるよう支援してまいります。

事業者を取り巻く経営環境は、度重なる災害に加え、DXやGXなどの対応により高度化・複雑化しているほか、米国関税の影響や物価高騰、人手不足が続くなど、大変厳しい状況にあると承知しています。

被災された皆様が一日も早く生業を再建できるよう、引き続き全力で取り組むとともに、事業者のニーズや課題を踏まえ、将来の成長に向けた取組もしっかりと進めてまいります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご理解、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭にあたって

森 洋 全国中小企業団体中央会会長

明けましておめでとうございます。令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、戦後80年の節目の年でした。中小企業・小規模事業者は、激変する経済環境の中で多くの困難な課題を克服しながら、その時々の経済、社会環境に対応出来るよう積極果敢に挑戦を続け、わが国経済の発展に大きな役割を果たして参りましたが、現在、新たな経営課題が山積しております。関税の引上げをはじめとする自国中心的な政策の影響が世界経済に大きな影響を与え、国内でもインバウンド消費額も影響を受けることに加え、依然として物価高騰が続く中での人手不足と賃上げへの対応が急務となるなど、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しい状況に直面しております。

こうした中で、昨年11月12日に広島県広島市で開催した第77回中小企業団体全国大会では、関係省庁・関係機関をはじめ多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約2,100名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議しました。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化していることを踏まえつつ、十分な価格転嫁と取引適正化、物価高を上回る賃上げ、事業承継・事業引継、自然災害対策、DXやGXの推進、新分野展開、ものづくり補助金や省力化投資補助金による生産性向上、リスクリギング等の「人への投資」、外国人育成労制度・特定技能制度への対応策などの最重要事項については、中小企業組合等連携組織による知恵と力の結集により解決を図ることが必要です。今年も中小企業と組合が我が国の力強い成長を実現する原動力であることを強く思いながら、会員の皆様との連携を一層強化し、対応して参ります。

結びに、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ち、大きく飛躍・発展していく」といった意味合いをもつ年とされています。本年が、中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様の情熱に満ちたご活動が実を結び、力強く飛躍される年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和8年元旦



年頭にあたって

竹内

学 株式会社 商工組合中央金庫
金沢支店 支店長

新年あけましておめでとうございます。旧年中に賜りましたご支援・ご厚情に厚く御礼申し上げますとともに、令和8年新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和7年の日本経済は、全体としては緩やかな回復を続けました。

米国の通商政策では、相互関税率を15%とする日米合意が7月に成立し、合意成立による不安感の後退などから現時点での影響は一部にとどまるものの、関税引き上げに伴う自動車輸出の前倒し需要やその反動の動きがみられます。

中小企業の景況感をみると製造業は不透明感が続いた一方、非製造業は旺盛なインバウンド需要やサービス消費に支えられ、製造業に比べ比較的堅調な推移となりました。

人手不足を背景に合理化・省力化などの設備投資が行われましたが、人手不足の影響は賃金面にも表れ、令和7年には大手企業・中小企業ともに前年を一段と上回る賃上げ率が実現しました。所得環境の改善は個人消費を下支えした一方で、米など食料品価格の高騰に伴う物価上昇の影響も見られました。

令和8年のわが国経済は、引き続き緩やかな回復が見込まれます。国内所得環境などの改善によって個人消費は底堅い推移が見込まれる一方で、リスクとしては各国通商政策の影響を受けた海外経済の減速や、AIによる収益拡大への過度な期待のはく落等が挙げられます。輸出や生産にも影響し、伸びが鈍化する可能性も懸念されます。設備投資は人手不足対応などにより増加傾向が続くと考えられますが、不確実性の影響には注視が必要です。

また、深刻化する人手不足により、中小企業は継続的な賃上げや人的資本経営など、人材に関する多面的な戦略策定・実行が不可欠となります。人手不足の解消は容易ではなく、生産性向上に向けた取組も急務です。

さらに令和8年からは、中小受託取引適正化法が施行されます。適正な価格転嫁が促進され、継続的な賃上げ原資の確保にも繋がると同時に、自社が委託事業者となる場合の取引についても法令遵守が求められます。

さて、商工中金は、令和7年6月の政府保有株式の売却完了と改正商工中金法の施行により民営化いたしました。この民営化は、PURPOSE「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」の実現に向けた新たなスタートラインです。今後も「中小企業による中小企業のための金融機関」として全力で取り組んで参ります。

おかげさまで令和8年12月に、商工中金は創立90周年を迎えます。多大なるご支援、応援をいただきました多くの皆さんに、この場をお借りして御礼申し上げます。

結びに、本年が中央会並びに会員組合とその構成員の皆さんにとりまして、明るい年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



連載エッセイ 七転八倒④

木谷 高明 氏

株式会社ブシロード 代表取締役社長

株式会社ブシロード社長の木谷高明です。夏から始めたこの連載も、早いもので第4回です。今回はこれまでとはちょっと趣向を変えて、社会で働く皆さんに向けた私流の心構えをお伝えしようと思います。

ちょっとした心の準備で、仕事がもっと面白くなるはずです。社会人全般に向けた内容ですので、経営者の方だけでなく、サラリーマンの方にもぜひ参考にしていただければと思います。

◆仕事で気をつけたい5つの「しん」

組織で仕事をするとき、気をつけておきたいのが、5つの「しん」です。

まずは「不信」。組織であれば常に誰かが持っていると思ってください。私の場合、気をつけるべきは制作の現場ですね。特にオリジナルコンテンツを作っている際に流行りがちです。みんなの頭の中のイメージが違うので、ちょっとしたズレから「この人はわかっていないんじゃないかな」とお互に不信感を持つてしまうのです。この調整がなかなか難しい。イメージのズレができると、溝は深まりお互いの対立を生んでしまいます。

ゲームを作る場合でも、原作があるならすでにイメージの土台があるのでわかりやすいのですが、そうでないオリジナル作品の場合は、とにかくイメージの共有を怠らないように心がけています。

こういった部署同士の伝達の行き違いによるいがみ合いは、他の業界でも多々あるはずです。

よくあるのが営業とそれ以外の部署の仲が悪かったり、上役と現場との温度差があったり。意思の疎通ができていなければ、必ず不信感は生まれてしまいます。

次に「過信」。「当社ならこれくらい売れる」

「これくらいお客様が集まってくれるはずだ」という楽観的な思考のことです。

さらに「慢心」。これは「過信」からさらに努力をしなくなった状態です。このふたつをみんなが持ち出すと、そのまま組織の「驕り」につながります。

続いて「不寝(ふしん)」。睡眠時間ですね。これが短いといい仕事ができません。仕事に追われて寝ていない人が増えていくと、さらに怒りを引き起こすことになります。

最後は「不親切」。いろんな人に親切していると回りまわって返ってくる。自分のことだけ考えていると誰も自分のことを考えてくれなくなります。ここから「不信」が生まれることもあります。

◆怒りの感情が生まれたら考えるべきこと

仕事をしていると、ビジネスの交渉がうまくいかないときや、ときには部下や周囲のスタッフの不手際などでついカッとなってしまうこともあるでしょう。

大前提として、叱ることと怒ることはまったく違うことです。

怒りの感情は絶対に人にぶつけてはいけません。どうしても怒りがわき上がりてくる場合は、人ではなく違うところにぶつける。私の場合は、その現象に対して「なんでこんなことになるんだ!」って全然違う方向に向けるようにしています。天に向かってぶつけるのです。

上の立場の人間だったら、部下の責任を取らざるを得ないこともある。そうすると「それを私だけに言われてもな」みたいに思ってることもあるわけです。こちらも相手の立場も考慮しつつ、責を問わなきゃいけない。でもそういうときはサッと問うて「次、気をつけてね」と切り上げることで、相手の逃げ場

ができる。「今後、起こらないようにします」のひと言で終わることができます。逃げ場のないような叱り方はよくありません。

叱るときは常に次の道を作つてから。怒りの感情があるときは、一度、叱ったときに相手の逃げ場がちゃんと用意されているかを考えてみる。そして考えて、冷静さを取り戻してから叱るようにしています。失敗の要因は自分にあるはずですから、自身の反省も大切です。

私の場合はすぐにわっと叱って、二度、三度は言いません。もちろん、なぜ叱っているかという理屈は説明しますが、理詰めでは叱らない。よく物の本には「人前で叱らず自分の部屋に呼んで叱るべき」などと書かれていますが、私はその場で叱ります。わざわざ部屋に呼んでいたらこちらが冷静なのが相手に伝わってしまいます。ですから、わっと沸騰してすぐに下がる。つい大きな声を出してしまうっていうのは、これくらい大変なことだよ、というのを理解させる効果があるので、わざわざ呼んで話していたら意味がないわけです。インパクトを残して「これくらいのダメなことだよ」と見せてすぐ下げる。後々まで引っ張らないことが大事です。それからなるべく対象は個人にならないように、チームに対して起こってしまった事象に対して怒るという気配りは必要です。

叱ったあとは「過ぎてしまったことは仕方がない。じゃあ対策を考えるぞ！」というふうに、すぐ解決に移らなければいけません。

最近はみんな叱られることに慣れていないので、落ち込む人も多いのですが、叱られているうちが花だと思ったほうがいいでしょう。上司は見込みがあるから叱ってくれているんです。言ってもしょうがないと、見切りを付けた人には叱らないので、叱られる側も前向きにとらえるべきです。

◆あえて付き合いにくい人と付き合う

世間には付き合いやすい人もいれば、付き合いにくい人もいます。人間なのでこれは仕方ありませんし、当然のことです。

対応がきつい人とやわらかい人がいたら、みんな対応のやわらかい人のところに行きがちです。対応がやわらかい人は誰に対してもやわらかいから人が寄ってくる。常に周りに人がいますから、こちらを気にかけてくれません。それなら、あまり好きではない付き合いづらいなという人のところに飛び込んでいったほうがいいというのが私の考えです。

これは私が証券会社で株式のトレーダーをしていた頃の話ですが、当時の取引先の金融機関の社員は学歴が高く、プライドが高い人が多かった。だから直接顔を出すのが大事でした。ある保険会社に資料を届けに行つたら、たまたま担当者ではなく上司の方がいました。「資料を届けにきました。山一の木谷です」と言ったら、資料を受け取ったその人に「お前、俺をおつかいに使う気か？」と、いきなり罵倒されました。私はなんでこんなことを言われるのかと悔しくて、まだ若かった私はビルを出たあと泣きました。

その後しばらく面会することがなかったのですが、あるときそこの会社が「大手化学会社の見学をしたい」と言ってきました。私ともうひとりいた担当者に「よかったら案内役を担当してくれる？」と言われて、これはチャンスだと思いました。

その日はトレーダーの仕事を休んでついて行きました。そしたら、前のきついことを言った上司の方もそこに来ていたんです。

「君は一日中付き添いでいいの？」「今日は御社のために一日中空けてますから」と答えて一緒に回りました。見学終了後、食事に誘われて、「お前不思議な奴だな」と言われました。で、翌日部下の方から電話があり、「さあ、買いましょうか」とその会社の株にガンガン注文が入って、その日だけで20億円くらいの株の買い注文をもらいました。まあ、今思うと最初から買うつもりだったのだと思います。あの見学は最後の確認のための儀式だったのでしょう。

対応のきつい相手であればあるほど、積極的に仲良くなるべきです。精神的にもきついし、それなりの覚悟は必要ですが、思わぬ大

当たりを引くこともある。もちろん相手が仕事上のキーパーソンの場合の話です。

対応がきつい人はだいたい誰に対してもきつい。だから、みんな付き合いたくない。ですからあまり親しくしている人は少ないと考えていい。敵が少ないからこそチャンスがあるのです。

◆サラリーマンには榮転しかない

「サラリーマンには榮転しかない」というのは私の好きな言葉のひとつです。そう思えるかどうかによって、会社員の人生はまるで違ってきます。

会社は営利組織だから、まったく無駄なことはしません。どこかの部署に異動になったとしても、なにかしら意味があります。だから「どんな意味があるのか、その意味はなんだろうか」と自分なりに考えて行動することが大事です。

会社の人事に無駄なものはないと常に頭の片隅に入れておけば、どんな逆境であっても都合よく物事を前向きに考えられて楽しむことができるはずです。最近は社会全体でそういう気持ちが薄れてきているように感じます。

そして前向きに考えることができれば仕事に対する姿勢も変わってくる。傍から見ると「左遷で逆境のはずなのに、頑張って成績を上げていて、前向きな奴だな」と評価が急カープで上がります。

私も山一證券時代に、社内的な問題に巻き込まれて秋田に転勤になりました。1992年、その当時はあと2年で会社を辞めようと思っていました。すぐに辞めなかつたのには理由がふたつあって、ひとつは辞めたら独立したいと考えてはいたのですが、そもそも何をやつたらいいかわからないから2年かけて探そうと思っていました。もうひとつは転勤先で私を待ってくれている人たちに申し訳ないなと思ったからです。新卒で入社して8年間お世話をなった会社に最後の恩返しをしようと決心しました。恩返しと見て、若手の指導をしたり、支店の中で前向きな新しい試みをやり始めたんです。そうすると周りの人から見れば「今度来た人は親身にやってくれる」となるわけです。

最後の恩返しと辞めたら何を始めるかを考える2年間だったのですが、結果、仕事もうまく回り充実した時間を過ごすことができました。自分の置かれている環境を前向きに捉えてやっていくことで、また違った幸運や面白い仕事に出会えるチャンスにつながるのです。

先行き不安な時代だから、つい後ろ向きに考えてしまう人が多いのですが、あえてそんなときも、そんなときだからこそ、前向きな考えを持ち続けるべき。これが会社員人生を楽しく過ごす秘訣です。



木谷 高明 (きだに たかあき)

株式会社ブシロード 代表取締役社長

【プロフィール】

1960年生まれ。石川県出身。武蔵大学経済学部を卒業。山一證券株式会社を経て、1994年に株式会社ブロッコリーを設立。

2007年にカードゲーム商品を手がける会社として株式会社ブシロードを設立し、2019年に東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場を果たす。

2020年6月に株式会社ブシロードの代表取締役会長、2022年7月には代表取締役社長に再度就任し、コンテンツ開発の最前線に立つ。

第77回中小企業団体全国大会（広島県）へ参加

全国中央会と広島県中央会の主催による、第77回中小企業団体全国大会が、11月12日（水）、『つながる ひろげる 連携の架け橋～夢を語ってはしゃぎん祭！轟轟（GoGo）と突き進め～』をキャッチフレーズに広島県広島市の広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）において開催され、全国から中小企業団体の代表者等約2,000名が参集しました。

本県からは20名が参加いたしました。参加者の皆様には、厚くお礼を申し上げます。



全国中央会会長による開会挨拶



大会参加の皆様

議事では、伊藤學人議長（広島県中央会会长）、岩崎陽一副議長（鳥取県中央会会长）、櫻井一郎副議長（熊本県中央会会长）の下、全国の中小企業・小規模事業者が、難局を乗り越え、持続的な成長と発展、豊かな地域経済社会の実現に向けて、「中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」についての15項目を決議し、採択されました。

（次ページ 決議概要を参照）

なお、大会では、全国中小企業団体中央会会长表彰として、優良組合38組合、組合功労者73名、中央会優秀専従者23名が表彰されました。本県からは下記の2名の方が受章されました。心からお祝いを申し上げます。

石川県からの受章者

組合功労者

輪島漆器商工業協同組合 理事長 日南 尚之 氏

金沢市旅館ホテル協同組合 理事長 浅田 久太 氏



受章者の浅田理事長

なお、次の第78回中小企業団体全国大会は、令和8年11月19日（木）に、熊本城ホールにおいて開催することを決定し、大会旗が森 洋全国中央会会长から櫻井 一郎熊本県中央会会长へ継承され、櫻井会長が次期開催地会長挨拶を行い、大会は終了しました。



開催地広島県中央会会长挨拶



次期開催地へ大会旗継承

第77回中小企業団体全国大会決議

○頻発する自然災害、国際情勢の不透明感、エネルギー・原材料価格の上昇、人件費増加等により引き続き厳しい経営環境にある中、十分な価格転嫁が進まず、物価上昇を上回る賃上げや設備投資の原資確保に苦しむ中でのコスト高、既往債務返済のための資金繩り、後継者不足等、事業の継続が難しくなる事業者も増えるなど中小企業・小規模事業者の経営課題は山積している。

○中小企業・小規模事業者が難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためには、事業者やそれらが協同して経営資源を補完・補強し合う組合等に対する国等からの支援策が不可欠である。

○物価高で困窮する中小企業・小規模事業者が安心して事業と雇用が継続できる環境の整備や取引適正化への支援、事業者の実態に即したDXやGXの推進、新分野展開や生産性向上の支援等をこれまで以上に行い、持続的な成長と発展、豊かな地域経済社会の実現に向け、全国の約3万の組合等からの生の声を踏まえた本決議事項の実現を国等に強く求める。

背景・目的

I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充

1. 喫緊の経営課題の解決に向けた支援の拡充・強化
2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた中小企業組合等を活用した支援の拡充、強化
3. 中小企業団体中央会の支援体制・予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善
4. 強靭かつ活力ある地域経済社会の実現、持続可能な地域振興

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 最低賃金制度の適切な運用・在り方
2. 外国人技能実習制度から育成就労制度への円滑な移行
3. 中小企業・小規模事業者に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築
4. 中小企業・小規模事業者の人材育成・確保・定着対策

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

秋の叙勲・褒章受章の方々（会員関係）

令和7年秋の叙勲・褒章受章が決定され、本会関係では、次の方々がその栄誉に輝かれております。

心からお慶び申し上げます。今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



旭日小綬章

(納税功労)

高桑 幸一

現 協同組合金沢問屋センター 理事長
現 石川県中小企業団体中央会 副会長

瑞宝單光章

(伝統工芸業務功労)

白坂 幸藏

元 協同組合加賀染振興協会 理事

瑞宝單光章

(伝統工芸業務功労)

田中 年雪

現 石川県箔商工業協同組合 常務理事

黄綬褒章

(業務精勤) [官報販売業]

宇都宮元樹

現 石川県書店商業組合 副理事長

藍綬褒章

(産業振興功績)

吉原 慎吾

現 石川県石油販売協同組合 理事長
現 協同組合小松問屋センター 理事長
現 石川県中小企業団体中央会 理事

経済講演会並びに交流会を開催

11月19日（水）、ANAクラウンプラザホテル金沢において、約90名の参加者を迎えて、経済講演会を開催しました。講師には馳 浩石川県知事をお迎えし、「I ①能登半島地震被災事業者への支援、②トランプ関税への対応、③最賃引上げへの対応 II 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり（成長戦略）』というテーマでご講演をいただきました。

能登半島地震の発生以降、災害対応や復旧・復興の指揮を執ってきた経験から、被災事業者への支援、米国関税の影響を受ける事業者への支援、最低賃金の引き上げへの支援策、成長戦略ファンドなどについてご説明をいただきました。営業再開は約9割まで回復する一方で、本格的な再開は7割にとどまっており、引き続ききめ細かな支援が必要であることを改めて認識させられる講演となりました。

講演会終了後には、馳知事にもご臨席いただき、交流会を開催しました。参加者間の懇親を深めるとともに、活発な情報交換が行われました。



講師の馳知事

石川県・金沢市に対し令和8年度予算要望を実施

本会は、12月3日（水）に馳 浩石川県知事、また、12月19日（金）に村山 卓金沢市長に対して令和8年度予算要望を行いました。米沢会長をはじめ副会長の方々が参加し、引き続き、災害からの復旧・復興の支援強化のほか、価格転嫁対策をはじめ、中小企業が置かれた厳しい現状を打破し、地域経済の再生と持続的な成長を図っていくための中小企業支援の継続と拡充など、下記4項目（詳細22項目）について要望を行いました。

中小企業組合及び中小企業の振興発展に係る予算要望事項

1. 中小企業等が置かれる厳しい経済状況からの脱却への支援
2. 未来を見据えた新たな組織化の推進と既存組合の活性化支援の強化
3. 組合等連携組織を通じた中小企業の強靭化と経営力強化の推進
4. 成長の源泉である人への投資



馳 知事への要望

外国人技能実習制度適正化講習会を開催

10月23日（木）、石川県地場産業振興センターにおいて、「育成就労制度に係る有識者会議での経過報告」と題し、講習会を開催しました。講師には、全国中小企業団体中央会 労働政策部 熊野祐氣様をお招きし、38名の方にご参加いただきました。

改正法として、令和9年4月1日より「育成就労制度」が施行されることに伴い、新制度に関する定款変更の実施要項等について、事前に案内がある旨の話をされました。現行の技能実習制度から改正法の育成就労制度の主な改正点としては、在留期間が3年間となることや、就労開始前までにA1（N5）相当の日本語資格要件または、日本語教育機関における相当講習を受講することが要件化されると話がありました。

監理支援機関の主要な要件としては、監理支援機関の常勤職員数は、2名以上配置。監理業務に従事する役職員1名につき受け入れ企業8社未満かつ育成就労外国人40人以内までの要件が整理されたことを言及されました。

今後、制度改正に伴った組合の対応もえてくることが予想される為、参加者の皆さまは熱心に受講されていました。



講習会の様子

DX 推進セミナー（実践編）を開催

11月18日（火）、石川県地場産業振興センターにおいて、「上手な DX の進め方～実践編～」をテーマにセミナーを開催しました。講師には、IT コーディネータの資格を有する株式会社一期大福 代表取締役 福岡 明夫様をお招きし、41名の方にご参加いただきました。

初めに、日本における経営環境について、労働力不足、先進国最低の労働生産性、デジタル競争力低下が深刻であり、危機的状況を打破するためには「DX」が重要なファクターとなっていることをお話しされました。

DX 推進については、業務の自動化、データ活用、ペーパーレス化などをすることによって、生産性向上が期待できるとのことでした。生成 AI も大いに活用することができ、コンテンツや文書作成、商品企画のアイディア出しなど、様々な業務に役立てることができると言及されました。

最後には、実際に受講者が生成 AI を使用し経営戦略立案を行い、質疑応答の後、セミナーを終えました。セミナーを受講した参加者からは、生成 AI を実際の業務での活用に落とし込んで考えることができたため、とても良い機会となったと好評いただきました。



セミナーの様子

2025年度組合青年部全国講習会（岩手県）へ参加

2025年度組合青年部全国講習会が、令和7年11月14日（金）に「ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウィング」において開催されました。全国の青年経営者等約230名が参加し、本県からは長坂 慎太郎会長、吉村 浩史副会長の2名が参加しました。

原田 守全国青年中央会会長が主催者を代表して挨拶を行った後、第一部講演会として、「日本経済の現状と、これから金融・経済政策」をテーマに嘉悦大学教授ならびに株式会社政策工房 代表取締役会長 高橋 洋一様の基調講演が行われました。

第二部講演会として、独立行政法人情報処理推進機構 白川 浩様が「リスクマネジメントと情報セキュリティ対策」と題し、ご講演いただきました。

その後、交流懇親会では、ブロック代表者対抗のわんこそば大会の実施や地元岩手県の地酒や料理が振舞われ、参加者は交流を深めました。



全国講習会の様子

交流懇親会の様子

石川県中小企業青年中央会 福利厚生事業を開催

11月19日(水)あさひ木材株式会社様において、12名の出席者のもと青年中央会福利厚生事業を実施しました。今年度は、木材加工から発生する端材に焦点を当て、石川県木材青壮年会の濱田 亨様(あさひ木材株式会社 代表取締役社長)より、石川県産材の端材問題についてお話をいただき、実際に端材を使用したウッドスピーカー作りを実施しました。

今回、木材加工現場である工場を見学させていただき、端材の利活用や処分に関してご説明いただきました。合板や集成材などの接着剤を使用した木材からは、燃焼時にホルムアルデヒドという有害物質が発生するため、処分時に業者に買い取ってもらう必要があるとのことでした。

ウッドスピーカー作りについては、参加者それぞれが自分の作品作りに熱心に取り組まれ、木材のあたたかさを感じられていました。参加者からは、県産材の端材や木材加工について目で見て知ることができ、また一点物の自分だけのスピーカーを作ることができて良かったとお声をいただきました。



工場見学の様子



ウッドスピーカー作りの様子

石川県中小企業青年中央会 視察研修事業を開催

12月4日(木)加賀地区において、11名の出席者のもと青年中央会視察研修事業を実施し、加賀市の企業視察ならびに加賀市担当者からこれからの行政の取り組みについてお話を伺いました。

最初に訪れた「大同工業株式会社」様では、元々漆器の製造・販売問屋を営んでいた初代が自転車用の木製リム製造を開始したことから始まり、その後、鉄製リム、チェーン製造に事業を転換していったと話がありました。世界中に3000社ほどのチェーンメーカーがある中で、二輪車や四輪車のエンジン内で使われるタイミングチェーンを製造しているのは5社のみでそのうちの1社が大同工業株式会社であることを紹介されました。また、2024年2月に経営理念を刷新し、「地球のすみずみまで笑顔と笑顔がつながる社会」を目指すために、事業基盤・社内環境整備を行っているとのことでした。その後、二輪車用チェーンおよび四輪車用チェーンを製造している福田工場を視察し、専用の金型の多くを自社で内製化することで、高い精度の製品を作れていることを学びました。

次に加賀市市民会館にて、加賀市の「産業振興部」「地域デジタル課」「加賀温泉駅周辺整備室」のお三方からお話を伺いました。2024年3月の北陸新幹線敦賀延伸後の観光客増加に向けた「1泊2日3湯4食」をテーマとした考え方やITやIoTなどのテクノロジーを活用した新たな取り組みである「スマートパス構想」、地域未来投資促進税制を活用した加賀温泉駅周辺の整備についてなど、これからの行政としての取り組みを知ることができ、見聞を深めました。



大同工業株式会社様 視察の様子



加賀市ご担当者からのお話の様子

(お知らせ)

当会では、組合等青年部組織の設立を支援しています。色々な支援事業もございますので、ご興味があれば、当会までお気軽にご相談ください！

石川県中小企業団体中央会女性部 組合女性部活動訪問事業（能登地区）を開催

今年で14回目となる中央会女性部の組合女性部活動訪問事業を10月21日（火）、和倉温泉お祭り会館にて27名の参加者のもと実施しました。今年度は、和倉温泉旅館協同組合女将の会の活動事例について発表いただきました。

近年の組合女性部の活動について、震災後は従来どおりの女性部活動が十分に実施できていない状況にあるものの、女将の会として組合や地域の方々と一緒に、復興に向けた取り組みを進めているとの発表がありました。温泉の神がまつられている神社での清掃活動をはじめ、観光列車「花嫁のれん号」運転再開時のお客様のお出迎え、北陸新幹線開通1周年イベントにおける芦原温泉駅での組合PRなど地域と組合を支える女性部としての役割をしっかりと果たされており、その存在意義と重要性を改めて認識する機会となりました。また、発表会の後は、参加組合女性部の活動状況について意見交換を行いました。その後、青林寺、和倉温泉街、お祭り会館、一本杉通り商店街を視察し、震災後の復興の状況を把握するとともに地域への見識を深めました。

なお、本事業では女性部を未設置の組合の方々にもご参加いただいており、組合女性部の活動を知っていただく機会となりました。参加者の方からは「組合女性部や中央会女性部の活動を知ることができて参考になった」、「女性部の方との懇談を通じて、同じ思いを持つ仲間がいて嬉しくなった」などの声が聞かれました。



和倉温泉旅館協同組合女将の会による事例発表



参加者のみなさん



和倉温泉街 視察の様子



お祭り会館 視察の様子

復興支援事業～組合まつり in TOKYOへの出展

能登半島地震からの地域経済回復を図るため、復興支援事業として被災組合の販路回復・拡大を目的に東京都で10月29日（水）～30日（木）に開催された「組合まつり in TOKYO」への出展支援を実施し、県内組合等の商品・サービスのPR・販売を行いました。なお、展示会には全国から計131の組合・団体が出展し、2日間で約1万3千人が来場しました。

石川県関係ブースにおいては、中央会集合ブースで金沢仏壇商工業協同組合、山中漆器連合協同組合、和倉温泉旅館協同組合の展示物やパンフレットを通じて商品紹介を行い、小型仏壇や木製カップなどに高い関心が寄せられました。また、和倉温泉の現在の休館状況を知らない来場者も多く、再訪を望む声も多数寄せられました。他に個別組合ブースとして、輪島漆器商工業協同組合、石川県陶磁器商工業協同組合、協同組合のともんが出展し、輪島箸やえがらまんじゅう、九谷焼などの商品が多くの方が購入されました。

会場では「石川県を応援したい」との声が多く寄せられ、応援消費につながる動きも見られるなど、本県の復興に向けた支援の広がりを実感できる取り組みとなりました。

なお、復興支援事業は石川県中小企業団体中央会女性部でも、10月29日（水）に開催された「レディース中央会全国フォーラム in あいち」の物産展ブースにおいて、被災した組合女性部3会員の取り扱う商品の販売などを行い、復興に向けて歩みを進めている能登のPRを行いました（詳細は次ページを参照）。



オープニングセレモニー



石川県関係ブース



レディース中央会2025全国フォーラムinあいちへ参加

レディース中央会2025全国フォーラムinあいちが、令和7年10月29日（水）に「ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋」において開催されました。全国の女性経営者等約250名が参加し、本県女性部からは泉崎富子会長、林 恵子副会長、三谷則子副会長、古池りか理事、事務局職員の計5名が参加しました。

森 洋全国中央会会長、吉田陽子全国レディース中央会会長が主催者を代表して挨拶を行った後、「愛知の歴史に学ぶ産業史」と題し、藤田医科大学 特命教授 大塚 耕平様による基調講演が行われました。続いて開催されたグループディスカッションでは、「各地域ごとの特色ある産業や取り組みについて（お国自慢）～地域や業種の垣根を越えたビジネスマッチングに向けて～」と題し、地域も業種も様々なメンバー内で、女性ならではの課題（子育てと仕事の両立）や世の中のトレンド課題（ハラスメント）について議論がなされました。

交流懇親会では、各テーブルに分かれ参加者同士情報交換などを行い、交流を深めました。

また、フォーラム会場に隣接する物産展ブースにおいて、能登半島地震で被災した組合女性部3会員（輪島漆器商工業協同組合輪島漆器組合婦人会、和倉温泉旅館協同組合女将の会、富来町商業近代化協同組合アスク女性部）の復興応援として、能登地区会員の取り扱う商品（輪島塗箸、わくたまくんサブレ、岩のり、能登牛カレー、さくら貝アクセサリーなど）の販売並びにパンフレットやちらしなどを展示し、復興に向けて歩みを進めている能登についてのPRを行いました。

能登復興支援の思いに多くの方々が共感してくださり、商品はすべて完売となり、来場者からは、「復興でがんばっている方の応援ができて良かった」、「大変だと思いますが、頑張って下さい！」などの声をいただきました。



吉田 陽子全国レディース中央会会長による挨拶



グループディスカッションの様子



石川県中央会女性部のブース



物産展会場の様子

令和7年度中小企業組合検定試験を実施

12月7日（日）金沢市をはじめ、全国21か所において中小企業組合検定試験が実施されました。会場の石川県地場産業振興センターでは、組合の役職員の方々など11名が、中小企業組合士資格の取得を目指して「組合会計」、「組合制度」、「組合運営」の3科目の試験に挑みました。

※中小企業組合士制度は、中小企業組合に従事する役職員の資質向上を図るため、その職務の遂行に必要な知識に関する試験を行い、試験合格者の中から3年以上の実務経験を有する者に対し、中小企業組合士の称号を与える制度で、試験は毎年12月第一日曜日に実施されています。皆さん、是非、チャレンジしてみてください！



REPORT

石川県中小企業団体中央会 DI調査報告 令和7年10月

県内製造業情報連絡員：8 業種 31 人／県内非製造業情報連絡員：6 業種 27 人

※本調査は、当会に設置している情報連絡員〔中小企業の組合（協同組合、商工組合等）の役職員58人に委嘱〕による調査結果です。DI値は、情報連絡員が所属する組合員企業の全体的な景況（前年同月比）です。

令和7年10月期において

- DI値で見ると、昨年同月比をもとに前月との増減を比べた場合、9項目中、8項目が上昇、1項目が悪化となった。全業種において、外需が堅調な業種もみられるが、国内需要は依然として停滞傾向で、全体として明確な回復基調には至っていない。
- 製造業では、9項目中、7項目が上昇、2項目が悪化となった。原材料高、電気料金の高騰や人件費上昇に伴うコスト負担の増大の影響は大きい。価格転嫁は難航し、賃上げ対応が経営を圧迫、収益面は厳しい。悪化していた業種は、大手建設機械メーカーの需要が減少し、影響を受けた一般機械器具製造業や、需要が減少し、収益状況が厳しい着物織物業、自動車の生産ライン減産等の影響を受けているプラスチック製品製造業などが挙げられる。一方、好調であった業種は、観光面が好調に推移し、売上が昨年より増加した陶磁器製品製造業であった。
- 非製造業では、8項目中、4項目が上昇、3項目が悪化、1項目が横ばいとなった。製造業同様、物価高と最低賃金の上昇が経営を圧迫しており、収益面では依然として厳しい環境にある。悪化していた業種には、販売量の減少に伴い収益減少が続いている石油小売業、物価高の影響により個人消費の落ち込みが影響している商店街などがある。一方、好調であった業種は、気候が安定し、秋冬物のアパレルを中心に売上が増加した婦人服小売業や百貨店・総合スーパー、インバウンド客が好調であった旅館業、能登地区の住宅着工工事が動き始めた板金・金物工事業などであった。8項目が上昇した結果となつたが、全体としては、原材料等の価格高騰並びに人件費の上昇などが収益状況を圧迫している傾向にあるなどマイナスの項目が多い。次月以降も注視していく必要がある。

中小企業の省力化・省人化について

人手不足や人件費の上昇が続く中、中小企業では業務の見直しやデジタル化など、省力化・省人化の取り組みが重要になっている。こうした中で、県内の事業者の省力化・省人化の実施状況について業界組合に聞いてみたところ次のとおりであった。

- 現在の人手不足の状況」について、全業種では、「深刻な人手不足である」が11.8%、「やや人手不足である」が76.4%であった。業種別でみると、製造業は「深刻な人手不足である」が11.1%で「やや人手不足である」が77.8%であり、非製造業は「深刻な人手不足である」が12.5%で「やや人手不足である」が75.0%であった。
- 業種を問わず人手不足が続いていること、人材確保がいかに難しいか、ということがわかる結果となった
- 「省力化・省人化の取り組み状況」については、全業種で「現在、検討している」が37.3%、次いで「すでに取り組んでいる」が35.3%、「特に予定はない」が25.5%であった。製造業と非製造業ともに人手不足に対応するため、省力化・省人化について何かしら導入並びに検討を進めている、という結果であった。
- 「取り組みの具体的な内容」については、全業種で「自動化設備や機械の導入」「業務プロセス」が同数で52.6%と最も多く、次いで「デジタルツールの導入」が50.0%、「人材の多能工化や作業標準等の人的工夫」が34.2%となっている。「人材の多能工化や作業標準等の人的工夫」は製造業で多く見られ、1人の従業員が複数の業務やスキルを習得し、多様な仕事に対応できるような人材育成ノウハウを持ち合わせている傾向が高いものと思われる。その他の意見として、「アルバイトや中途採用の活用(印刷業)」という意見が挙げられた。

- 「省力化・省人化に関して、補助金等の支援制度活用状況」については、「活用していない」が60.9%と最も高く、「活用した」・「現在申請・検討している」を大きく上回った。当会が窓口となっている「中小企業省力化投資補助金」をはじめ、多くの支援メニューが活用されておらず、一層の周知が必要であることがわかった。

令和7年

10月期 景況天気図

	全体	製造業	非製造業
売上高	7.0 (19.3)	- 6.5 (6.4)	23.1 (34.6)
在庫数量	4.3 (2.2)	3.2 (9.7)	6.3 (▼12.5)
販売価格	47.4 (14.1)	38.7 (9.7)	57.7 (19.2)
取引条件	- 12.3 (▼ 5.3)	- 12.9 (▼ 6.4)	- 11.5 (▼ 3.8)
収益状況	- 24.6 (12.2)	/// / / / - 35.5 (12.9)	- 11.5 (11.6)
資金繰り	- 12.3 (3.5)	- 19.4 (▼ 3.3)	- 3.8 (11.6)
設備操業度	- 22.6 (6.4)	- 22.6 (6.4)	-
雇用人員	- 15.8 (3.5)	- 19.4 (6.4)	- 11.5 (0.0)
業界の景況	/// / / / - 29.8 (1.8)	/// / / / - 45.2 (6.4)	- 11.5 (▼ 3.8)

※1：() 内の数字は前月とのポイント差 (▼は減少)

※2：設備操業度は製造業のみ

全体の景況感

※主要3項目(売上高・収益状況・業界の景況)の平均値



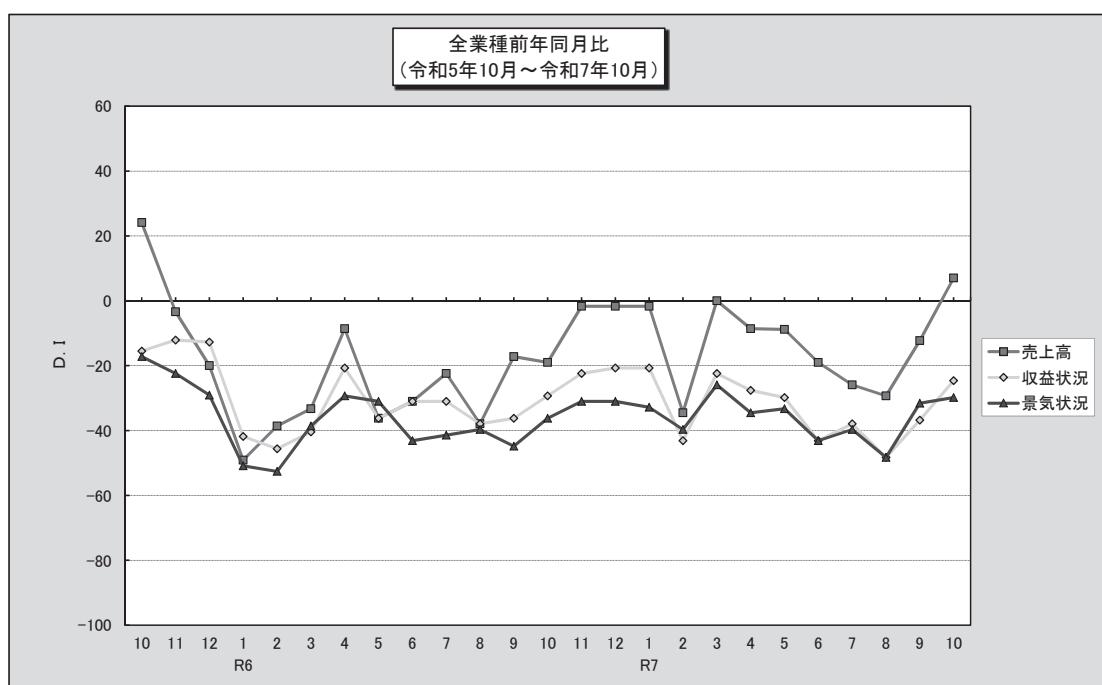
大雨
-26.9

天気図の見方

各景況項目について「増加」(又は「好転」との回答を頂いた業種割合から「減少」(又は「悪化」との回答を頂いた業種割合を引いた値をもとに作成しました。その基準は次の通りです。

快晴 25以上	晴れ 10~25未満	くもり 10未満~-10未満	雨 -10~-25未満	大雨 -25以下
---------	------------	----------------	-------------	----------

景況の推移(前年同月比)石川県分(主要3項目)



ものづくり補助金成果事例集のご紹介



ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金は、中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。

販売促進事業の一環として、補助事業に取り組んだ事業者の実施内容や成果などを会員の皆さんに周知し、独自の取り組みを促すことを目的に、事例をご紹介いたします。

目次

- P19 アクソンデータマシン株式会社（令和元年度補正）
「バッテリーマネージメントユニットの高密度化と生産性向上」
- P21 株式会社金森合金（令和元年度補正）
「次の300年の歴史を繋ぐ老舗鋳物工場の「工業と工芸」の両軸展開」
- P23 有限会社南川刺繍工芸（令和元年度補正）
「新型機械による刺繡領域の拡大と日本初の刺繡化粧箱の開発」
- P25 加賀建設株式会社（令和元年度補正）
「石川県内企業初、超重機船施工管理システム導入に伴う次世代型就業環境の構築」

アクソンデータマシン 株式会社

[業種] 電気機械器具製造業

事業
計画名

バッテリーマネージメントユニットの
高密度化と生産性向上

- ◆代表者名 小泉 孝
- ◆設立年月日 昭和52年6月18日
- ◆所在地 〒920-0106
石川県金沢市今町ワ48
- ◆TEL 076-254-5511
- ◆FAX 076-254-5843
- ◆URL <https://www.axon.co.jp>
- ◆E-mail info@axon.co.jp
- ◆従業員数 15名
- ◆資本金額 1,000万円



i-PULSE series CHIP MOUNTER S10
【チップマウンター】



YCP010 (画像認識付き自動印刷機)
【プリンター】

事業に取り組んだ経緯・背景

従来の電子部品実装ラインは導入後20年超と老朽化した設備のため、高密度電子部品の実装が不可。

加えて設備停止のトラブル（チョコ停・ドカ停）は日常的であり、設備稼働状況は良くない状況である。印刷機については基板セットから印刷・印刷版取り外しまでの全てが手作業のため、印刷品質のバラツキによる半田付け不良・実装品質不良となることが多く、手直し作業も日常業務であった。更に、各種設備間は連結されていない為、プリント基板搬送は手作業となることからクリームハンダや電子部品への触手がともない、品質不良を招いている状況であった。そこで、これらの問題解決を図るため本事業に取り組んだ。

事業内容

電子部品実装ラインの構築

リチウムイオン電池市場の拡大にともない、それを制御するバッテリーマネジメントユニット（BMU）の高密度化と増産対応が課題となっている。当事業によりBMUの高密度化を実現し、生産効率を向上させるために、印刷機や実装機の全行程を連結コンベアで繋ぎ、以下の電子部品実装ラインを構築した。

1. 高密度タイプのクリーム半田印刷機の導入

高密度タイプのクリーム半田印刷機（YCP 10）を導入し、高密度プリント基板（0.04mm以下）の製造を実現した。クリーム半田印刷機は、プリント基板上にメタルマスクを置き、クリーム半田を転写（印刷）し、半田を塗布するものである。

半田塗布の量や位置ズレを自動で判定させる「画像認識」により、半田の自動検査を行う仕組みを構築した。

クリーム半田を転写（印刷）した後、直ぐに自動判別を行うことによって、検査の手を間省くことが可能となつた。表面の実装が完了したら、プリント基板を裏返して裏面の実装に移るが、接着剤塗布を同時にすることで、表面実装後にプリント基板を裏返すことが可能となつた。

2. 両面実装を実現する自動実装機の導入

両面実装を実現する自動実装機（i-PULSE series CHIP MOUNTER S10）は、部品を高精度・高スピードで自動実装を行う。接着剤塗布機能により両面実装が容易になる。更には、0.04mm 以下の高密度プリント基板の実装を実現させた。

3. 製造ラインの構築（自動コンベアによる接続）

上述の設備1と2に加え、リフロー設備を自動コンベアで接続し、自動生産ラインを構築した。

＜電子部品実装ライン＞

①プリント基板供給装置 ②クリーム半田印刷機 ③接着剤塗布機 ④部品実装機 ⑤リフロー装置 ⑥プリント基板収納装置の6工程を構築。

これにより、①クリーム半田印刷 ②自動実装 ③リフローを自動で一貫生産することを可能にした。



[SMT 実装ライン]

事業の成果

高密度タイプのクリーム半田印刷機及び接着剤自動塗布機能搭載の部品実装機を導入し、高密度プリント基板（0.4mm 以下）の製造、及び両面基板の実装自動化を実現した。

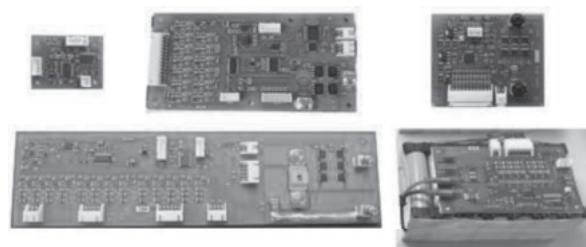
これにより、バッテリーマネジメントユニット（BMU）の高密度と増産対応が可能となった。

事業の現在の状況

自社製品の開発・製造のリードタイム短縮が図れることから、今後、飛躍的に伸びる車載用リチウムイオン電池のBMUの開発・製造に注力していく。



社屋外観



高品質 BMU 基板

【得意分野】

産業用バッテリー販売、バッテリー電源システムの開発製造、ソーラー電力システムの開発製造

【主要取引先】

エナーシスジャパン、日本自動車連盟（JAF）、パナソニック環境エンジニアリング株式会社、パナソニック コネクト株式会社、株式会社プロテリアル、気象庁、海上保安庁、航空自衛隊

【商品】

リチウムイオンバッテリー、鉛バッテリー、充電器、ソーラーシステム、エンジンスターター等

【代表者からの一言】

「餅は餅屋」のことわざがありますが、当社はバッテリーの応用製品や太陽光の応用製品を主体に事業を展開しています。鉛バッテリーやリチウムバッテリーをお客様のニーズに合わせた容量・サイズで製作することができます。廃車されるEVカーのバッテリーをリユースする事業も展開し、地球温暖化の低減に微力ながら貢献していきたいと思っています。



代表取締役 小泉 孝

株式会社 金森合金

[業種] 非鉄金属製造業

事業
計画名

次の300年の歴史を繋ぐ老舗鋳物工場の
「工業と工芸」の両軸展開

- ◆代表者名 代表取締役23代目 金森 和治
- ◆設立年月日 1714年(正徳4年)
- ◆所在地 〒920-0348
石川県金沢市松村6丁目100番地
- ◆TEL 076-267-3003
- ◆FAX 076-267-3019
- ◆URL <https://www.kanamori1714.jp>
- ◆E-mail info@kanamori1714.jp
- ◆従業員数 9名
- ◆資本金額 10,000,000 円



ライフスタイルブランド「KAMAHACHI」

事業に取り組んだ経緯・背景

創業 1714 年、加賀藩主前田家に仕えた鋳物師がルーツの石川・金沢にある鋳物会社である。

「H-IIA ロケット」部品素材など産業用機械部品の供給とその技術と素材機能性を活かした商品を提案するライフスタイルブランド「KAMAHACHI」の展開を行っている。

リーマンショック以降国内の産業用鋳物生産量は右肩下がりであり、鋳物業界は厳しい市場環境にある。また小規模事業者が多く、後継者不足による事業承継が業界全体の課題となっている。

当社はこれまで継承してきた砂型鋳造技術とロケット部品素材を供給する精錬技術を活かして、「工業と工芸」の両市場を展開する取り組みをスタートした。

事業内容

当社のボトルネック工程は、「FBM 砂型製作（高速高圧抜杵造型機）」と多種多様な製品を仕上げる「仕上げ」工程がどちらも同一の動力（空気圧縮機）を使用していることで、能力が足りず同時の長時間作業が難しい状況であった。

また、鋳物工場は石川県庁から車で 10 分、金沢市内の住宅街に位置することから、近隣住民への配慮により、大きな動力を必要とする FBM 稼働時間を昼 4 時間だけに制限していた。このため砂型製作が十分に行えず、納期遅れを発生される要因となっていた。

そこで、当補助事業では空気圧縮機の新型省エネ機を導入することで並列作業を可能にし、稼働可能時間の 285% 増加、不良率ロスの 180 万円 / 年 削減、

騒音値の48.2%低減に取り組んだ。

設置場所も工場と工場の間に建屋を設置し、街中の铸物工場として共存を図っている。



伝統的砂型铸造

事業の成果

限られたマンパワーではあるが、「工業と工芸」の両市場チャレンジが可能となり、様々な製品の铸造や商品開発が可能となった。

ライフスタイルブランド「KAMAHACHI」では、コロナ禍に銅合金の抗菌効果を活かした抗菌商品を開発したり、花がみずみずしく長持ちし、季節をもっと身近に楽しむ「針のない剣山」を提案したりと、ゼロからスタートしたブランドだが、現在は80アイテムほどに商品数を増やした。



DECO BOKO

「KAMAHACHI」商品

事業の現在の状況

金属廃材を商品へと循環する循環型ものづくりを生かして、ハイアット セントリック 金沢の廃棄アルミ缶を精錬し、モダンなテーブルウェアへと作り替えてホテルのダイニングレストランへと循環させるマイクロサイクルに取組んでいる。

また、『ジュラシック・パーク』やディズニーアニメーション映画『アラジン』、『リトル・マーメイド』の金属コレクションを発表し、伝統技術のプロモーションを進めている。

これからも様々な手法をもって、次の300年に残すべきものづくりを継承したいと考えている。

[得意分野]

- ・1714年から代々継承する伝統的砂型铸造
- ・ロケット部品素材を供給する自社内精錬技術
- ・金属廃材を商品へ、循環型ものづくりの継承
- ・1点から供給する柔軟な生産体制
- ・産業用機械部品からライフスタイルブランド製品までといった幅広い製造実績

[主要取引先]

プレス機械部品、ポンプ部品、建設機械部品、食品機械部品、自動車部品、インテリア、オーダーメイド品など

[商品]

産業用機械部品、ライフスタイルブランド「KAMAHACHI」

[代表者からの一言]

300年の歴史を積み重ねてきたわたしたち
次の300年につなぐ「工業×工芸」のものづくり

1611年（慶長16年）加賀藩主前田利長に技術を認められ、高岡铸物の礎を築いてから400年。調度品や武具・梵鐘といった装飾性・鑑賞性の高いものだけではなく、金森の職人が製造した鍋金は市民の台所で欠かせない道具となりました。

江戸時代から今日まで脈々と受け継がれてきた砂型铸造技術は、その時代に応じて必要とされるものにカタチを変え、強度のある素材へと精錬を続けています。

金属が固体から液体へ、また固体へと変化を遂げるよう、世の中のニーズを柔らかく受け止めながら、次の300年に残すべきものづくりを続けて参ります。



23代目 金森 和治 24代目 高下 裕子

有限会社 南川刺繡工芸

[業種] 製造

事業
計画名

新型機械による刺繡領域の拡大と
日本初の刺繡化粧箱の開発

- ◆代表者名 代表取締役 南川 芳行
- ◆設立年月日 1987年12月24日
- ◆所在地 〒922-0111
石川県加賀市山中温泉塚谷町口58番地
- ◆TEL 0761-78-2322
- ◆FAX 0761-78-2322
- ◆URL <https://www.minamikawa-shisyu.com/>
- ◆E-mail info@minamikawa-shisyu.com
- ◆従業員数 3人
- ◆資本金額 500万円



TAJIMA TMAR-K1508C

事業に取り組んだ経緯・背景――

5年前に家業を継ぎ、それまで全く異なる職種だったため素人として刺繡業界に入る。

客観的に自社を見てみると、20年前から変わらない工賃、刺繡機械の老朽化がひどく、それに反して刺繡業界は多様化していた。布製品、主に学校制服やセーターがメインの刺繡から、帽子やリストバンド、ワッペン加工などのニーズが多くなり、刺繡自体の質は高く評判が良かったため、各種のオーダーが来るのだが、機械の老朽化によって機会損失が生じてしまっていた。

そのため、刺繡領域の拡大を狙い、最新の刺繡機械の導入と、同時に加賀市にある「尾崎紙器」さんとの共同開発で日本初の「刺繡化粧箱」の商品開発を目指していく。

最新型刺繡機では、布だけでなく皮製品、帽子、靴などにも刺繡加工が可能となる。

事業内容――

新型刺繡機械を導入することにより、多様な素材への刺繡加工を可能とし、刺繡速度向上により、生産性の向上が見込まれる。そして、最新のコンピューター管理により、糸や針の強さをコントロールして、従来の機械刺繡では出せなかった「手刺繡」のような風合いも表現できるようになる。

また、そのコンピューター管理で「紙箱」にも刺繡可能となり、「刺繡化粧箱」を開発して商品化していきたい。

事業の成果

導入した刺繡機械は「TAJIMA TMAR-K1508C」という新型多頭機を2台。刺繡速度は4倍に向上し、データ管理も容易になった。また最大の特徴は機械が素材によって糸や針の強さをコントロールしてくれることであり、これにより、布製品のみだった刺繡加工が、帆布などの厚手の布製品、皮製品、帽子、靴などにも刺繡加工可能となり、多様なオーダーに対応可能となった。

同時に、「尾崎紙器」さんとの共同開発商品である「刺繡化粧箱」の開発も進んでおり、何点か商品化もしている。従来では単なる「入れ物」であった紙箱に刺繡を施すことにより、工芸品・美術品としての化粧箱を製作していく。そこに施す刺繡も単なる刺繡ではなく、日本刺繡と呼ばれるいわゆる「手刺繡」の風合いを新型機械で表現可能としており、「日本初の刺繡化粧箱」を今後も開発していきたい。

事業の現在の状況

この事業に取り組んだ結果として、多様な素材への刺繡が可能となり、当初の想定を上回る刺繡加工の多様化を果たしている。同時に刺繡速度の向上により生産性も向上している。

「刺繡化粧箱」の方は、昨年尾崎紙器さんにご不幸があり、開発が鈍化している。仕切り直して新たな商品開発を手掛けている途中である。

また、開発の副産物として「和紙」にも刺繡が可能となったため、神社仏閣で見られる「御朱印」を刺繡で加工して商品化できないか模索中である。



箱刺繡サンプル



社屋外観

[得意分野]

刺繡加工（衣類、帽子、布、皮、紙など）

刺繡データ作成

シルクスクリーンプリント加工

[主要取引先]

小松ニット株式会社 （株）ナツツ （株）福富

[商品]

刺繡加工品

刺繡データ作成代行

シルクスクリーンプリント加工

各種ワッペン

[代表者からの一言]

「刺繡」を身近にもらいたく、企業からだけでなく個人からの依頼にも対応しています。イベントなどにも刺繡機を持ち込んで出店していきます。「刺繡は個性」この言葉をみなさんにお伝えして、刺繡で自由に刺繡を使って付加価値をつけてもらいたいです。今後は布製品だけでなく、多種多様な素材に刺繡を施して刺繡の可能性を広げていきたいです。



代表取締役 南川 芳行

加賀建設 株式会社

[業種] 建設業、飲食業

事業
計画名

石川県内企業初、起重機船施工管理システム
導入に伴う次世代型就業環境の構築

◆代表者名 代表取締役社長 鶴山 雄一
◆設立年月日 昭和18年6月26日
◆所在地 〒920-0337
石川県金沢市金石西1丁目2番10号
◆TEL 076-267-1161
◆FAX 076-267-1164
◆URL <https://kagaken.co.jp/>
◆E-mail office@kagaken.co.jp
◆従業員数 129名
◆資本金額 54,000,000円



リプレースした 120t 吊起重機船

事業に取り組んだ経緯・背景――

当社が主力事業としている海洋土木では、金沢港を拠点港として当社技能者が操船する起重機船を2船団所有しており、金沢港の浚渫工事に従事する等、地域の港湾インフラ整備事業に年間を通して携わっている。また、当社は金沢港において唯一年間を通じて起重機船を在港させ、災害等の緊急時にいつでも対応できる企業を目指してきた。

海洋土木は、起重機船（作業船）という海上作業現場が中心であり作業足場が不安定であることに加え、建設作業自体が水中作業であることから、陸上工事に比べ、操船・クレーン操作の難易度が非常に高く、職人技ともいえる高度な技能を持つ熟練者が、これらの作業を担ってきたが、その難しさゆえ世代交代が進まず当社においても人材不足が課題であった。

未熟な技能者支援や、安全、かつ安心して働く環境作りと技能者支援を目的として、自社所有 120t 吊

起重機船のリプレースを機に、石川県内企業初の革新的な ICT 技術の導入を図り、当事業に取り組んだ。

事業内容――

次世代型就業環境の構築のため、下記の複数の ICT 技術を導入した。

- 1) SV-Navi：未熟な技能者でも精度高く、管理監督職員が常時乗船していないとも効率的な施工が行えるように、GPS 測位に加え、船体位置・クレーン吊荷位置及び状態・グラブバケットの開閉状態等をモニターにて「見える化」することが出来るシステム。
- 2) Virtual Bridge Monitor (VBM：バーチャルブリッジモニター)：前述した「SV-Navi」と完全に連動し、グラフィカルかつリアルタイムに表現された作業船の各機器の状態や情報を、無線

LANにより船上どこにいても視覚的に共有できるモニタリングシステム。

- 3) SV-Sonar (SV-1000)：対象範囲(8m × 3m、24 ポイント)の測深を5秒で完了し、前述した「SV-Navi」と完全に連動して現況地盤を視覚的に確認できる高性能測深管理ソナー。



SV-Navi モニター「見える化」した作業状況



VBM を搭載したタブレット PC

事業の成果

水中部分が不可視であり、目標物が少ない海上で、熟練技能者の経験や感覚に頼った作業ではなく、SV-Naviの浚渫支援機能により、船体位置・クレーン吊荷位置及び状態・グラブバケットの開閉状態等をモニターにて「見える化」を実現したことから、若手技能者（重機オペレータ歴1年）・熟練技能者（重機オペレータ歴21年）共に日当たりの浚渫土量が3割向上した。さらに、施工位置・船体位置を確認する測量を行うため、従来では管理監督職員が常時乗船する必要があったが、目標位置と現在の船体位置をリアルタイムにモニターで確認しながら操船・転船を行えたため、管理監督者の乗船率も8割削減出来た。

○浚渫作業量比較表		
重機OP	従来施工	施工管理システム使用あり
若手技能者(歴1年)	450m ³ /日	600m ³ /日
熟練技能者(歴21年)	600m ³ /日	800m ³ /日

浚渫土量比較

事業の現在の状況

現在では、本施工管理システムの活用実績も増え、技能者自身が柔軟に施工管理システムの操作を行えるようになったことから、消波ブロック据付作業などにも活用の範囲を広げている。また、重機オペレーターの育成のみならず、操船・アンカーリング等、船舶上における各持ち場での若手技能者の育成にも活躍しており、安全安心な就労環境が整ったと考える。

また、港湾施設、海岸施設、漁港施設は施設老朽化が今後急速に進むものと予測されており、長寿命化対策が県内各地で展開されていく見込みである。さらに、このような長寿命化対策工事は、大型工事ではないため、大手企業が参入し難く、当社のような地元中小企業が担っていく必要がある。本事業の実施により、地元中小企業が今後とも経営を持続できる体力・能力を持つことは、インフラの維持を通じて地域産業を支えることになる。

そして、国が i-Construction を推進し、陸上工事が先行して ICT 施工が進められている中、ICT 施工が特に遅れている、海洋土木、かつ中小企業分野での ICT 施工を目指すもので、国の施策の課題解決・一層の推進に大きく寄与することが出来ると考えている。

[得意分野]

海洋土木、一般土木、建築

[主要取引先]

各官公庁

[代表者からの一言]

加賀建設は創業以来、時代の変化を捉え、社会のニーズに呼応しながら、進化を遂げて参りました。予測できない大規模な災害が起きる今、人々と地域を守り、新たな価値のデザインに挑戦する事が私たちの使命です。

技術の始まりは「探究心」であり、携わる皆が建設業の枠を超えて、地域から世界に貢献できるよう挑戦して参ります。私たちは社会の変化に誰一人として取り残されることがないように地域を見つめ、未来へ向けた新たな価値を創造します。



代表取締役社長 鶴山 雄一

組合運営 Q&A

員外監事について

Q1 監事は組合員の中から選任するべきですか？また、組合員以外から選任することは出来ますか？

A1 役員である理事については、定数の少なくとも3分の2は、組合員または組合員たる法人の役員でなければなりません（中協法第35条第4項）。一方、同じ役員である監事につ

役員である理事については、定数の少なくとも3分の2は、組合員または組合員たる法人の役員でなければなりません（中協法第35条第4項）。一方、同じ役員である監事については同趣旨の規定ではなく、組合員、組合員以外を問わないことから、監事は組合員の中から選任しても良いです。組合員外から選任することもできます。

また、2007年の中協法の改正により、事業年度開始の時に組合員の総数が政令に定める基準を超える組合（1,000人、ただし信用協同組合及び信用協同組合連合会は除く）は、組合員による自治運営監事のうち1人以上は組合員以外の者であることが必要となりました。

この場合の員外監事は、組合員または組合員たる法人の役員若しくは使用人以外の者であって、かつ、その就任前の5年間にその組合の理事若しくは使用人またはその子会社の取締役、会計参与、執行役若しくは使用人でなかった者でなければなりません（中協法第35条第6項）。

員外理事の定めのない組合が員外理事を置くことの可否について

Q2 協同組合が員外理事を置く場合、次のいずれの考えが適切ですか？

- (1) 員外理事を置く旨定款に定めなくとも、員外役員を置かない旨の規定がなげれば、理事の定数の3分の1までは置くことができる。

(2) 員外理事を置く旨定款に定めなければ、員外理事は置けない。

A2 (1) が適切ですが、員外理事に関する規定は定款で明確にすることを
理事については、理事の定数の少なくとも 3 分の 2 は組合員または組合員の

(1) が適切ですが、員外理事に関する規定は定款で明確にすることが望ましいです。理事については、理事の定数の少なくとも3分の2は組合員または組合員たる法人の役員でなければならない（中協法第35条第4項）ことから、逆に言えば3分の1までは員外理事を選任することができます。

したがって、本件については、貴見(1)のとおりですが、員外理事に関する事項を明確にさせるため、定款に「組合員または組合員たる法人の役員でない者は○人を超えることができない。」または「理事は、組合員または組合員たる法人の役員でなければならぬ。」と明記することが望ましいです。

退職金 社長の決断、 応援します。

令和8年度石川県中央会会長表彰並びに 石川県知事表彰に係る被表彰候補者の推薦について

本会では毎年通常総会において、永年にわたり組合運営に携わってこられた功績顕著な役職員の方々を表彰いたしております。また、石川県知事表彰につきましても本会を通じて推薦することといたしております。

表彰基準に該当される方につきまして、1月23日（金）までにご推薦いただきますようお願いいたします。
会員組合に対しましては別途、文書でご案内いたしております。

[表彰基準（簡略版）]

	石川県知事表彰	中央会会長表彰
組合功労者	<ul style="list-style-type: none">・組合役員歴が通算15年以上（現職理事長は10年以上）・中央会会長表彰を受賞	<ul style="list-style-type: none">・組合役員歴が通算10年以上
優良専従職員	<ul style="list-style-type: none">・組合の勤務歴が満20年以上・中央会会長表彰を受賞	<ul style="list-style-type: none">・組合の勤務歴が満10年以上

※ 詳細につきましては、先にお送りしております表彰基準及び留意事項でご確認下さい。

また、お問い合わせは本会 総務課（代表）076-267-7711 までお願いします。

ひとに寄り添う、
デジタルで寄り添う。

デジタル技術が激変する今、
新しいサービスが次々に誕生しています。
先のみえない時代だからこそ、問いかけてみたい。
日々の喜びって何だろう。家族の幸せって何だろう。
一人ひとりの幸せのカタチは様々。
固定概念に捉われず、自由に明日を描くこと。
その先に、きっと豊かな暮らしが待っています。
デジタルは、明日の社会をもっとよくしていく。
どれだけ便利な時代になんでも変わらないのは
新しい出会い、喜び、たくさんのアイデアが
ひとに勇気や希望を与えてくれることです。
ICCはこれからも、ひとに寄り添い、心豊かな未来を描き、
前に進んでいきます。



icc 株式会社
石川コンピュータ・センター

www.icc.co.jp

会報読者アンケート プレゼントクイズ当選者紹介！

会報2025年No.5号（11月発行）にて実施したプレゼントクイズの答えは、「ささき ろうき」でした。

ご回答いただいた方から、抽選の結果、1名の方にプレゼントをお贈りさせていただきました！

**当選者：東京海上日動火災保険株式会社
宮越 純香 様**

プレゼントは、石川県菓子工業組合組合員の株式会社浦田甘陽堂様が販売されている「加賀八幡起上もなか」などの和菓子の詰め合わせです。

ご回答いただき、ありがとうございました。



▲お渡ししたプレゼント



当選者の宮越様

今号のプレゼントクイズでは、ご回答された方の内から当選者の方に、中央会事業にちなんだ品物をお贈り致します。
〆切は1月16日(金) !! ご回答お待ちしております !!



こんばんは組合さん

石川県菓子工業組合

【事業所所在地】

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5F
TEL:076-255-7077 FAX:076-268-9924

組合のPRをお願いします！

本組合は、昭和40年10月に石川県菓子工業組合が設立され、菓子製造業の経営安定と合理化を目的に活動を開始しました。平成6年には全国菓子大博覧会(金沢)を開催し、「菓子処石川」としての名を全国に発信しました。今後も、培ってきた伝統と技を次代へ継承し、石川の菓子文化を発信してまいります。

○大阪・関西万博で和菓子作り体験を実施！

令和7年8月27日(水)からの5日間、石川県金沢市からの要請で大阪・関西万博で和菓子作り体験を実施しました。この5日間は「石川



浦田理事長

の日」と位置付けられ、国内外の多くの来場者に石川の菓子文化に触れていただく良い機会となりました。実際に「桜」と「花火」の練り切り体験をしていただき、食べるだけではなく肌にふれて体験することの大切さを知っていただくことができました。

一言お願いします!!(浦田理事長)

令和6年1月の能登半島地震で被災した能登の組合員も多くおり、先日、地震から約2年経ってやっと営業を再開できた組合員もいます。そのような状況の中で組合として行えることとしては、能登の声を汲み上げて支援を行っていくことだと考えます。組合員はもちろんですが、被災された方々の心の支えとなるように、石川の菓子づくりを通じてこれからも取り組んでまいります。

当コーナーに登場していただける事務局さんを募集中です!自薦、他薦は問いませんので、中央会事務局まで連絡をお待ちしています!

「米国関税に備えたい！」

事業者さまの資金対策に新保証制度

期間10年以内
(据置3年以内)

低金利
1.25%
(固定)

低保証料
0.13%~1.19%

申込受付期間: R7.7.1 ~ R8.3.31



制度名: **経営安定支援融資保証
(米国関税対応分)**

石川県信用保証協会キャラクター
えーるわんぱくくん

対象者: 下記①~③のいずれかに該当する方

- ①最近1か月売上高または売上総利益率または売上高営業利益率が3%以上減少
- ②米国関税の影響で資金繰りに著しい支障をきたしている又はそのおそれがある
- ③SN認定(各号)

限度額: 8,000万円 (同制度一般分と通算なし)

資金使途: 運転資金

期間: 10年以内 (据置3年以内)

金利: 固定 1.25%以内

売上や利益率が
現時点で減少していない方も
ご利用になれます

米国関税措置に伴う特別相談窓口も
設置しておりますので、お気軽にご相談ください。



あなたに寄り添う
石川県信用保証協会

〒920-0918 金沢市尾山町9番25号

保証申込のご相談は

保証課 TEL.076(222)1522

経営支援のご相談は

経営支援課 TEL.076(222)1550

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命

**従業員のための
退職金準備に
特定退職金共済制度**

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備ができる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社

**経営者・従業員のための
万一の保障
団体扱生命保険**

団体扱*(月払)の場合、
一般扱(口座振替扱月払等)で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン
経営者の
各種リスクマネジメントのために
パートナーズプラン
役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート

**業務上の災害への備えに
業務災害補償保険**

事業活動にかかる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社

* 団体扱とは、石川県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

* 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

* 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」および石川県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 北陸支社

〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢8F TEL:076-263-3256
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2023-432 (損保)A-2023-112 (2023.9)
R-2023-1009 (2023.9)

退職予定の皆さんへ

あなたの宝物 眼らせないで!

私たちは、あなたの知識・経験・能力を求めていきます



無理のない働き方(月10日以内・週20時間以内)で
“生きがい就業”しませんか!!

お住まいの地域にあるシルバー人材センターにお気軽に問い合わせください ※SCはシルバー人材センターの略です

珠洲市SC TEL(0768)82-6886

輪島市SC TEL(0768)23-8033

能登町SC TEL(0768)62-4688

穴水町SC TEL(0768)52-4680

志賀町SC TEL(0767)42-2170

七尾市SC TEL(0767)52-4680

中能登町SC TEL(0767)76-8060

羽咋市SC TEL(0767)22-2700

宝達志水町SC TEL(0767)29-4850

かほく市SC TEL(076)281-3655

内灘町SC TEL(076)286-2992

津幡町SC TEL(076)288-4462

金沢市SC TEL(076)222-2411

野々市市SC TEL(076)294-8303

白山市SC TEL(076)275-7604

能美市SC TEL(0761)58-4060

小松市SC TEL(0761)47-2855

加賀市SC TEL(0761)73-2456

シルバー人材センター



厚生労働省委託事業 高齢者活躍人材確保育成事業



石川県中小企業団体中央会

理 専務理事 副会長
事

北竹小徳板明法中高小荒北西山横米谷馬高石小山米
川田林野尾石邑川松田木村川本川澤崎場桑野出田沢
雅賢靖伸昌康律國喜康重雄一浩卓幸晴秀
一朗司典彦之宏政雄志秀則勝藏人三也裕貢一紀進一寛

理
事

作岩鏑寺西池井東平諸紙河本山吉中市増岡村鶴中川
田木岡田内波渡村江谷合保本原島山江田井山田敬
一克基才倫孝成敏一秀裕克慎祥世康啓庄正敏雄
則久由治明輔英孝一洋成和胤則吾博勉圭晴介市敏雄

理
事

監事
村浦山浅越泉長小山三高浅行酒橋架日鹿水
木田口下村崎坂杉本谷田野井本谷南野本
他職員一同 (順不同) 峰東秀正富慎善晴修由久欣壯大洋尚和安
子一孝昭志子郎文一司紀太也司衛司之宏長

TEL(076)267-7720
FAX(076)267-7720
(石川県地場産業振興センター新館五階)
金沢市鞍月二丁目二〇番地

令和8年1月1日

石川県電気工事工業組合
理事長 米沢 寛

〒921-8062 金沢市新保本4丁目65番22 TEL(076)269-7883 FAX(076)269-7882
URL : <http://www.dennet.jp>

石川県総合建設業協同組合
理事長 鶴山庄市

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)244-1554 FAX(076)244-1181

金沢建設業協同組合
理事長 岡田康晴

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)243-5868 FAX(076)242-4331
URL <http://www.kanazawa-kumiai.or.jp>

石川県造園業協同組合
理事長 中田正敏

〒921-8163 金沢市横川7丁目50番地1 87ビル横川403号
TEL(076)218-5367 FAX(076)218-5369

石川県板金工業組合
理事長 越村正志

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号(建設総合センター内)
TEL(076)242-3050 FAX(076)245-2218

石川県建築工事協同組合
代表理事 加藤三郎
専務理事 長尾信幸

〒920-0022 金沢市北安江4丁目15番15号
TEL(076)262-4714 FAX(076)262-4718

令和8年1月1日

数寄屋・城郭建築 等 古建築解体・修復・復原

金沢建築事業協同組合

代表理事 宮本修一

〒920-0022 金沢市北安江4丁目15番15号(建設センター3階)
TEL(076)263-2188 FAX(076)263-2320

かほく市建設業協同組合

理事長 麟香敏信

〒929-1215 かほく市高松ム68番地2
TEL(076)282-5222 FAX(076)282-5220

石川県鉄骨工業協同組合

理事長 寺田健信

〒921-8036 金沢市弥生二丁目2番23号(石川県建設総合センター内)
TEL(076)244-1866 FAX(076)245-2882

中部経済産業局認可 官公需適格組合



小松管工事協同組合

理事長 茗荷谷 豊
外組合員一同

〒923-0026 小松市下牧町ツ28番地 TEL(0761)21-0282 FAX(0761)22-7163

中部経済産業局認可
官公需適格組合



加賀管工事協同組合

理事長 萬谷哲男
外組合員一同

〒922-0816 加賀市大聖寺東町1丁目20番地 TEL(0761)72-3717 FAX(0761)72-3720

石川県インテリア事業協同組合

理事長 宮利介

〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)244-0277 FAX(076)244-1055

令和8年1月1日

石川県鉄筋業協同組合

理事長 小寺 洋志裕

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地
TEL(076) 268-8965 FAX(076) 268-8966

石川県電機設備協同組合

理事長 本保 裕胤

〒920-0376 金沢市福増町南1304番地
TEL(076) 249-5297 FAX(076) 249-8485
E-mail:ishikawads@po6.nsk.ne.jp

石川県タイル煉瓦事業協同組合

理事長 春木 義則

〒920-1167 金沢市もりの里3丁目104番地
TEL(076) 222-7771 FAX(076) 223-6211

金沢建物解体業協同組合

理事長 今村 秀憲

〒920-0856 金沢市昭和町14-5
TEL(076) 263-6622 FAX(076) 263-6626

LLメンテナンス協同組合

理事長 平本 健治

皆様のご支援に心より御礼申し上げます
能登復興へ向け精一杯務めさせていただきます

能登リサイクル協同組合

〒928-0324 鳳珠郡能登町字中斎1字34番地1 TEL(0768) 76-8050

令和8年1月1日

アミックス事業協同組合

代表理事 山口 阳

〒929-0113 能美市大成町チ284番地 マルトビル 1F3号室
TEL (0761) 46-6680 FAX (0761) 46-6690

石川県撚糸工業組合

理事長 北村 勝
副理事長 中森 勇人
副理事長 清水 健治

〒923-0813 小松市糸町3番地1号 TEL (0761) 22-3781 FAX (0761) 22-3762

一般社団法人 石川県縫製協会 石川県輸出縫製品工業協同組合

〒920-8202 金沢市西都1丁目226番地
TEL (076) 268-3223 FAX (076) 268-0570

石川県テントシート工業組合

監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	理事長	西川 雄
組合員一員	三島良正	山本正	田村裕	菅邦清	神谷清	青木五郎	石野新	中島新	(株)第一テント商会
同章	同人	二二	二二	二雄	二十	青木テント (株)石野テント (株)中島テント商会	西野貴	清水雄	清水テント(株)
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

〒921-8011 金沢市入江2丁目29番地 TEL (076) 291-2730 FAX (076) 292-0809

金沢港木材団地協同組合

理事長 東 直樹

〒920-0211 金沢市湊2丁目118番地15
TEL (076) 238-7746 FAX (076) 238-7725

令和8年1月1日

小松織物工業協同組合

理事長 荒木重則

〒923-0801 小松市園町ハ36番地1
TEL(0761)22-0690 FAX(0761)22-0694

加賀市織物協同組合

理事長 清水屋 健太郎

〒922-0331 石川県加賀市動橋町ネ22番地
TEL(0761)72-1710 FAX(0761)72-1712

石川県ゴム入織物工業協同組合

理事長 飴谷 嘉治蔵

〒929-1177 かほく市白尾イ44番地2
TEL(076)283-1154 FAX(076)283-1156

金沢木材協同組合

プレカット金沢

理事長 増江世圭

〒920-0211 金沢市湊1丁目79番地 TEL(076)237-5566 FAX(076)238-3999

いしかわ砂利販売協同組合

理事長 端保太市

〒923-1267 石川県能美郡川北町字壱ツ屋194番地
TEL(076)277-0066 FAX(076)277-1098

石川県生コンクリート工業組合

理事長 村井啓介

〒921-8043 金沢市西泉3丁目33-1(生コン会館)
TEL(076)242-1401(代) FAX(076)242-1350

令和8年1月1日

南加賀生コンクリート協同組合

理事長 村井 啓介

〒923-0964 小松市今江町3丁目709番地
TEL(0761)21-0108(代) FAX(0761)24-5591
URL <http://www.mkaga-con.jp/>

金沢地区生コンクリート協同組合

理事長 永岡 孝

副理事長 北川吉博 副理事長 長山太郎

〒921-8043 金沢市西泉3丁目17番地
TEL(076)242-6662 FAX(076)242-6695
URL <https://www.kana-con.jp/>

石川県コンクリート製品協同組合

理事長 中川 敬雄

副理事長 西田 清史

副理事長 大森 保明

〒920-0209 金沢市東蚊爪町ラ34番2 TEL(076)238-4723
<http://www.incl.ne.jp/concrete/>

白山麓砂利採取協同組合

理事長 谷端慶宗

〒920-2122 石川県白山市鶴来知守町ル60
TEL(076)273-2112 FAX(076)273-0710

石川県第三機器協同組合

理事長 法邑律政

専務理事 安江浩一

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地 TEL(076)267-2219

金沢石材工業協同組合

理事長 番作一之

金沢市米泉町10丁目39番5 HAKKEN 金沢米泉ビル201号
TEL(076)225-8255 FAX(076)225-8256

令和8年1月1日



人と技術のコミュニケーション

石川県鉄工団地協同組合

理事長 明石康宏

白山市横江町1726-46 TEL(076)275-4430 FAX(076)276-8182

石川県プレス工業協同組合

理事長 石野晴紀

副理事長 米澤卓也

副理事長 塚林幸作

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目3番地

TEL(076)267-2125 FAX(076)267-2126

北陸鉄工協同組合

理事長 小林靖典

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地 TEL(076)267-1955

石川県鋳物工業協同組合

理事長 中川國雄

〒920-0211 金沢市湊4丁目63番地 TEL(076)237-0701 FAX(076)237-0704

小松共栄工業協同組合

理事長 東他喜男

副理事長 島田将徳 副理事長 丸開悟

〒923-0804 小松市光町25番地 TEL(0761)24-0771 FAX(0761)24-0774

協同組合 アイケイケイ

理事長 石野晴紀

常務理事 井上英一郎 常務理事 小池田 康秀

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地 TEL(076)267-2219

令和8年1月1日

旭丘団地協同組合

理事長 高松 喜与志

〒924-0004 白山市旭丘1丁目2番地
TEL(076) 275-3181 FAX(076) 275-6065

協同組合石川中央

理事長 南 昭武

〒924-0004 白山市旭丘1丁目2番地
TEL(076) 275-3181 FAX(076) 275-6065

小松鉄工機器協同組合

理事長 板尾 昌之

副理事長 吉田 守伸 副理事長 田中 克政

〒923-0804 石川県小松市光町25番地
TEL(0761) 22-4261 FAX(0761) 20-1000



石川県鍍金工業組合

理事長 浅下 秀昭

専務理事 宮崎 克洋

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目3番地
TEL(076) 267-2125 FAX(076) 267-2126

石川県印刷工業組合

理事長 小杉 善文

副理事長 小畠 寛祐 副理事長 山越 敏雄
副理事長 今川 弘敏 副理事長 田中 逸郎 専務理事 田上 裕之

石川県印刷会館 〒921-8002 金沢市玉鉢4丁目160番地
TEL(076) 291-0557 FAX(076) 291-7812



小松鉄工団地協同組合

代表理事 山口 徹

〒923-0994 小松市工業団地1丁目62番地
TEL(0761) 24-3484 FAX(0761) 24-3483

令和8年1月1日

金沢城西機器工場団地協同組合

理事長 松井 孝憲
専務理事 浅田 次郎

〒921-8006 金沢市進和町13番地2
TEL(076) 291-2811 FAX(076) 291-2812

金沢精密機器協同組合

理事長 松本 要

〒920-0059 金沢市示野町280番地 TEL(076) 267-3212

石川県プラスチック成型加工工業協同組合

理事長 馬場 貢
副理事長 高瀬 幹夫 副理事長 新木 洋満

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目3番地
TEL(076) 267-7121 FAX(076) 267-2126

石川県合金鋳造工業協同組合

理事長 前田 順一郎

〒920-0211 石川県金沢市湊4丁目63番地 TEL(0767) 38-1881

北陸グラビア協同組合

代表理事 織田 憲三

石川県製本工業組合

理事長 堀岡 昭夫

〒920-0807 金沢市乙丸町丙22番地1
TEL(076) 252-2525 FAX(076) 252-5556

令和8年1月1日

石川県菓子工業組合

理事長 浦田東一

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館5F内
TEL(076)225-7077 FAX(076)268-9924

大野醤油醸造協業組合

理事長 山本晴一

〒920-0331 金沢市大野町4丁目甲18番地6 TEL(076)268-1301
URL <http://www.oonomurasaki.jp/>

金沢仏壇商工業協同組合

理事長 山田晃輔

〒921-8014 金沢市糸田1丁目18-8 セルーラ新神田EAST202号室
TEL(076)223-4914 FAX(076)232-6714

石川県陶磁器商工業協同組合

理事長 岩田克久

石川県能美市泉台町南13番地 石川県九谷会館内
TEL(0761)58-6656 FAX(0761)58-6663
URL <https://kutani-shoukumi.or.jp/>

石川県九谷窯元工業協同組合

理事長 三田英則

〒923-0832 石川県小松市若杉町ア91番地
TEL 0761-48-4230



九谷セラミック・ラボラトリー

TEL 0761-48-4235 (10:00~17:00)

HP: cerabo-kutani.com



九谷焼協同組合

理事長 中田利之

〒923-1112 石川県能美市佐野町ワ3番地1
TEL(0761)57-1257 FAX(0761)58-5257

令和8年1月1日

山中漆器連合協同組合 山中塗うるし座

理事長 鹿野和宏

〒922-0111 石川県加賀市山中温泉塚谷町1268-2

TEL(0761)78-0305 FAX(0761)78-5205

<https://yamanakashikki.com>

北陸電設資材卸業協同組合

石川県支部
支部長 中西英文

〒920-8543 金沢市問屋町1丁目11番地

TEL・FAX(076)239-4551



各種展示会・研修会に
金沢流通会館をご利用下さい。

協同組合 金沢問屋センター

理事長 高桑幸一

〒920-0061 金沢市問屋町2丁目61番地 TEL(076)237-8585 FAX(076)237-5240
URL <https://www.kimassi.or.jp/>



金沢中央水産物卸協同組合

理事長 池内孝輔

副理事長 大谷康史

〒920-0024 金沢市西念4丁目15番1号 TEL(076)261-6368 FAX(076)261-7319

金沢中央市場青果卸協同組合

理事長 片山茂

〒920-0024 金沢市西念4丁目7番1号 TEL(076)261-6366 FAX(076)261-6399

令和8年1月1日

金沢市青果食品商業協同組合

代表理事 東 渡 孝

金沢市西念4丁目6番1号 TEL(076)221-0651

石川県再生資源事業協同組合

理事長 島 畑 朝 羊

〒924-0855 白山市水島町335番地
TEL・FAX(076)277-3355

金沢市再生資源事業協同組合

理事長 佐 久 間 悟

〒920-1105 金沢市戸室新保へ69番地1
TEL(076)236-1201 FAX(076)236-1228

石川県鉄屑加工処理工業協同組合

理事長 朝 倉 建 郎

〒920-0211 金沢市湊3丁目23番地2
TEL(076)237-1400 FAX(076)237-1036

安心と信頼の

石川 石川県中古自動車販売商工組合

理事長 山 本 克 則

〒924-0038 石川県白山市下柏野町258番地
TEL(076)276-9381 FAX(076)275-6728

石川県電器商業組合

理事長 本 保 裕 肇

〒920-0376 金沢市福増町南1304番
TEL(076)249-5297 FAX(076)249-8485
E-mail:ishikawads@po6.nsk.ne.jp

令和8年1月1日

ウイング北陸綜合衣料商業協同組合



理事長 河合秀和

〒920-3104 石川県金沢市八田町東125番地
TEL (076) 258-6611 FAX (076) 258-6918

金沢魚商業協同組合

理事長 平村敏一
副理事長 忠村健司 専務理事 北川紀吉

〒920-0024 金沢市西念4丁目7番1号
TEL (076) 263-2204(代) FAX (076) 263-2206

石川県石油販売協同組合 石川県石油商業組合

理事長 吉原慎一
役員 同



老舗が集う一

石川県観光物産館

理事長 作田一則

〒920-0936 金沢市兼六町2番20号
TEL (076) 222-7788 FAX (076) 222-5183

協同組合 兼六園観光協会

理事長 宇田直人

〒920-0936 金沢市兼六町1番25号
TEL (076) 221-6453 FAX (076) 221-6453

石川県水産物商業協同組合連合会

会長 平村敏一

副会長 忠村健司(金沢) 副会長 坂井浩明(小松)
副会長 中田誠(七尾) 副会長 高橋明日(加賀)

〒920-0024 金沢市西念4丁目7番1号 TEL (076) 263-2204 FAX (076) 263-2206

令和8年1月1日

金沢港いきいき魚市 金沢港産地販売協同組合

理事長 湯 谷 誠

〒920-0332 金沢市無量寺町252番地
TEL (076) 266-1353 FAX (076) 266-1352

石川県農業機械商業協同組合

理事長 杭 田 節 夫

〒921-8061 金沢市森戸2丁目201番3
TEL (076) 204-6360 FAX (076) 204-6361

石川県時計貴金属眼鏡商協同組合

代表理事 山 田 正 雄

〒920-0902 金沢市尾張町2丁目10番15号
TEL (076) 263-1561 FAX (076) 263-1565

石川県茶商工業協同組合

理事長 奥 村 裕 之

金沢市幸町30番1号
TEL (076) 231-4919 FAX (076) 231-4919



片町商店街振興組合

理事長 諸江 洋

〒920-0981 金沢市片町2-2-6 片町きらら 4F
TEL 076-232-0630 FAX 076-232-0632

www.e-katamachi.com



EST 1632
TATEMACHI ST.
金沢堅町商店街

堅町商店街振興組合

理事長 西 田 優 明

金沢市堅町94番地1 TEL (076) 232-2244

令和8年1月1日



近江町市場商店街振興組合

理事長 紙 谷 一 成

電話231-1462 FAX232-5502

info@ohmicho-ichiba.com

「近江町パーキング」創立60周年

近江町駐車場協同組合

理事長 忠 村 健 司

〒920-0906 金沢市十間町21番地

TEL(076) 263-7918 FAX(076) 263-7919



石川県自転車軽自動車事業協同組合

石川県自転車防犯登録協会

理事長

森 宏 幸

会長

〒920-0053 金沢市若宮町ホ4番地

TEL(076) 261-6812 FAX(076) 213-6166

石川県貨物運送協同組合連合会

石川県高速運輸事業協同組合

会長 山田 秀一 副会長 吉田 守伸

副会長 木下 義隆 副会長 梶嘉仁

〒920-0365 金沢市神野町東8番地 TEL(076) 240-1003 FAX(076) 240-4588

石川陸上輸送協同組合

理事長 梶 嘉 仁

組合員一同

〒920-0365 金沢市神野町東8番地

TEL(076) 249-3125 FAX(076) 249-3128



本年もご愛顧よろしくお願い致します

迎春 赤帽石川県軽自動車運送協同組合

令和8年1月1日

石川県自動車整備商工組合

理事長 架 谷 洋 司

〒920-8213 金沢市直江東1丁目2番地
TEL (076) 239-4001 FAX (076) 239-4004

官公需適格組合

石川県ビルメンテナンス協同組合

代表理事 酒 井 壮 司

〒921-8013 金沢市新神田5丁目25番地1 TEL (076) 214-6252 FAX (076) 214-6206

石川県税理士協同組合

理事長 野 村 和 宏

副理事長 吉 田 武 史 副理事長 梅 谷 真 司 副理事長 谷 口 勇 一
副理事長 高 山 孝 専務理事 赤羽根 秀 樹 専務理事 川 原 英

〒920-0022 金沢市北安江3丁目4番6号 TEL (076) 223-1841 FAX (076) 223-1873

私たちのまちづくりのために一生懸命お手伝いをいたします。

金沢市一般廃棄物事業協同組合

理事長 金 岡 曜稚子

〒920-8203 金沢市鞍月5丁目181番地 AUBE ビル8階
TEL (076) 225-8520 FAX (076) 225-8563

あなたの健康をサポートいたします

石川県柔道整復師協同組合

理事長 橋本 大衛

〒920-0031 石川県金沢市広岡2丁目3番26号
TEL 076-233-2122 (代) FAX 076-233-2196



人材アットマークステーション協同組合

代表理事 高 由 紀

〒920-0061 金沢市問屋町1-20 ウイルフラップ株式会社(内)
TEL (076) 237-8891 FAX (076) 237-0707

令和8年1月1日

SPC JAPAN 北陸事業協同組合



理事長 泉 崎 富 子

〒920-0853 石川県金沢市本町1丁目5-1
TEL (076)221-1175 FAX (076)221-1176
<http://www.spchokuriku.com/>

謹賀新年

本年も「能登」のために頑張ります 応援よろしくお願ひいたします

増穂浦ショッピングモール・アスク

地域の笑顔を未来へ繋ぐまちづくり

アビオシティ専門店街

協同組合 加賀ターミナルセンター

理事長 小嶋 宏幸

〒922-0423 石川県加賀市作見町ル25番1
TEL (0761)72-8700 FAX (0761)72-8704



アービーくん

和倉温泉旅館協同組合

理事長 谷崎 裕

〒926-0175 七尾市和倉町2部13番地の1
TEL (0767)62-1555 FAX (0767)62-2611



しあわせを湧かして1300年



北陸 加賀温泉郷
山代温泉

山代温泉旅館協同組合
TEL 0761-77-1144
新幹線は来た。次はあなたに来てほしい。〒922-0243 石川県加賀市山代温泉



片山津温泉旅館協同組合

理事長 森本 康敬

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉モ2番地2 TEL (0761)74-1123

令和8年1月1日



日本の美と、渓谷の温泉と。

山中温泉

山中温泉旅館協同組合 TEL:0761-78-0330

金沢市湯涌温泉観光事業協同組合

理事長 山下文明

〒920-1123 金沢市湯涌町1
TEL (076) 235-1040 FAX (076) 235-1233

石川県理容生活衛生同業組合

理事長 行野欣也

〒920-0036 金沢市元菊町6番10号
TEL (076) 232-2362 FAX (076) 233-2219

安原工業団地協同組合

理事長 米澤卓也
組合員一同

〒920-0377 石川県金沢市打木町東1400番地(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411 FAX (076) 240-1903



協同組合 石川県高速道路交流センター

理事長 米沢寛

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館5F
TEL (076) 268-9922 FAX (076) 268-9924
URL <https://www.ikc.or.jp> E-mail info@ikc.or.jp

■共同受注事業 ■ETCカード共同精算事業 ■ガソリンカード事業 ■アイコックショップ ■車両購買・オートリース事業
■自動車共済事業 ■異業種交流促進事業 ■福利厚生事業



IKOC

協同組合全国企業振興センター

理事長 田中尚人

〒920-8203 石川県金沢市鞍月4丁目24番地 TEL. (076) 226-1111(代) <http://www.ikoc.net>

令和8年1月1日



協同組合アイテック

代表理事 紺谷 裕一
〒929-1215 かほく市高松ム68番地2
かほく市高松北会館2階
TEL (076) 281-0655

石川県異業種交流協同組合

代表理事 目名保彦

〒920-0841 金沢市浅野本町ニ142-1
TEL (076) 227-9991 FAX (076) 208-3078



北陸ロードサービス事業(協)

代表理事 高田 勝

石川県金沢市駅西新町3丁目13番27号
TEL (076) 261-7123

“国際人材を応援します”



協同組合 金沢経営管理センター

理事長 大友 淳

〒921-8178 石川県金沢市寺地1丁目33-19 アドバンスビル3F
TEL (076) 243-2080

ビジネスアシスト事業協同組合

代表理事 藏野 誠一郎

〒920-3116 石川県金沢市南森本町ホ30-1-3E
TEL (076) 257-8095 FAX (076) 257-8096

石川県中小企業共済協同組合

理事長 長基健司

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 TEL (076) 268-7300

令和8年1月1日

協同組合石川県中小企業経営者同友会

理事長 米沢 寛

〒920-0345 金沢市藤江北2丁目363番地
TEL (076) 267-7741 FAX (076) 267-7955

一般社団法人

石川県中小企業診断士会

会長 石井伸太郎

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館3階
TEL (076) 267-6030 FAX (076) 204-6033

共に乗り越えよう石川！

一般社団法人加賀機電振興協会

会長 佐藤龍吉

〒920-0424 石川県加賀市小菅波1丁目130クロスガーデン加賀3階
TEL・FAX (0761) 72-6633

一般社団法人石川県洋菓子協会

会長 金岩重典

〒921-8175 金沢市山科1-3-17
TEL／FAX (076) 259-0415

一般社団法人 石川県ニュービジネス創造化協会

理事長 大久保 賢司

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
TEL (076) 268-1919 FAX (076) 268-1929

令和8年1月1日

石川県信用保証協会

会長 竹中博康

〒920-0918 金沢市尾山町9番25号
TEL(076) 222-1511(代表)



金沢支店 〒920-0919 金沢市南町6-1 朝日生命金沢ビル
国民生活事業統轄 金丸 幸義 0570-045202
支店長兼農林水産事業統轄 小松 圭介 (076) 263-6471
中小企業事業統轄 平塚 雅弘 (076) 231-4275

小松支店 〒923-0801 小松市園町ニ-1 小松商工会議所ビル
支店長兼国民生活事業統轄 神田 崇行 0570-045445

株式会社 商工組合中央金庫金沢支店

支店長 竹内 学

〒920-0964 金沢市本多町3丁目1番25号
TEL(076) 221-6141 FAX(076) 222-1898

弁護士法人まこと共同法律事務所

代表弁護士 浅野 雅幸 得意分野 破産、サラ金整理、高齢者・障害者問題(成年後見)、離婚、遺言、相続、債権回収、少年事件、損害賠償、事業承継
弁護士 久保 雅史

〒920-0912 金沢市大手町15番14号 アーバンハイム大手町4階
TEL(076) 262-5757 FAX(076) 262-5177

さわやか税理士法人

代表社員 池水龍一
社員 山田洋

〒920-0913 金沢市西町3番丁18番地 TEL(076) 263-0411

お客様のそばに寄り添い、
お客様の背中を押す、
そして、喜びを共有する。

それが私たちの仕事です。

社会保険労務士法人 末正事務所

代表社員 末正哲郎

〒921-8163 石川県金沢市横川6-8
TEL(076) 213-6771 FAX(076) 213-6773
E-mail:suemasa@office-suemasa.com

令和8年1月1日

広告企画・PR誌編集企画・特產品開発企画

赤須企画事務所

代表 赤須治郎

〒921-8103 石川県金沢市つづじが丘45番地
TEL&FAX (076) 245-7477

マネジメントサポーター 薪水社

中小企業診断士

代表 荒木泰之

〒921-8112 金沢市長坂1丁目13番10号 TEL(076) 242-2870
E-mail:cool.a@amethyst.broba.cc

デジタルカラー複写機・パーソナルコンピュータ

理光商事株式会社

代表取締役社長 田川英孝

〒920-0061 金沢市問屋町2丁目38番地 TEL(076) 237-4455(代表)

icc 株式会社
石川コンピュータ・センター

代表取締役社長 山浦伯之

〒920-0398 金沢市無量寺町ハ6番地1 TEL (076)268-8311 / FAX (076)268-5442 <https://www.icc.co.jp/>



株式会社 柿本商会

代表取締役社長 柿本一如

<https://www.kakimoto.co.jp> 東京、名古屋、富山、福井

中央会共済制度引受会社

大樹生命保険株式会社北陸支社

支社長 坂元千秋

〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢8階
TEL (076) 263-3256

令和8年1月1日

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

三井住友海上火災保険株式会社

金沢支店長 西 村 務

〒920-0024 金沢市西念1-1-12
三井住友海上金沢ビル
TEL (076) 223-9960



AIG損保

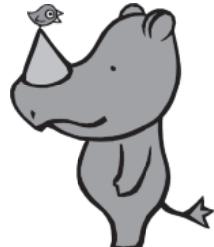
AIG損害保険株式会社 金沢支店

支店長 中元 貴士

〒920-0919 石川県金沢市南町 4-60 金沢大同生命ビル2F
TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

共栄火災海上保険株式会社

北陸支店 支店長 八巻 習



北陸支店 金沢第一支社 〒920-0919 石川県金沢市南町5-16 TEL 076-261-9297

• HAKUHODO •

株式会社 北陸博報堂

本 社 金沢市南町4-1 金沢ニューグランドビル 2F T: 076-222-5121 F: 076-222-7440
代表取締役社長 開上 真樹 富山支社 富山市牛島町18-7 アーバンプレイス 7F T: 076-431-2010 F: 076-431-2008 www.hokuriku.hakuhodo.co.jp



有限会社中部ワークス

代表取締役社長 河 端 直 人



〒924-0011 石川県白山市横江町1580-1
TEL (076) 274-1300 FAX (076) 274-4780
URL <http://chubu-works.co.jp>

株 式 会 社 橋 本 清 文 堂

〒920-0059 金沢市示野町南51番地
TEL (076) 266-0555 FAX (076) 266-0880

令和8年1月1日

大村印刷株式会社

代表取締役 能登 健太朗

〒920-0211 金沢市湊1丁目7番地1
TEL(076)239-3966 FAX(076)239-3969



なるほど そうだね やってみよう
ことづくりカンパニー
宮下印刷株式会社

本社

〒920-0047 石川県金沢市大豆田本町甲251番地
TEL 076-263-2468 FAX 076-263-1234

東京Office

〒164-0012 東京都中野区本町2丁目8番8号
TEL 050-3624-7674 FAX 03-5371-7378



石川県内のすべてがそろう“電子書籍”ポータルサイト「イシカワイーブックス」

Ishikawa ebooks



『Ishikawa ebooks』(イシカワイーブックス)とは、
インターネット上で石川県内の電子書籍を
無料で閲覧できる地域特化型の
電子書籍ポータルサイトです。 [石川イーブックス] [検索]



前田印刷株式会社 金沢事業部

石川県白山市旭丘二丁目16番地 TEL:076-274-2225(代)
東京支店・大阪支店・筑波支店・富山支店・白山工場

全国旅行業協会正会員

石川県知事登録旅行業第3-87号

株式会社 トラベルシティ

代表取締役 北敏一

〒921-8002 金沢市玉鉢4丁目197番地
TEL(076)291-8989 FAX(076)291-8990
E-mail:travelcity@p04.nsk.ne.jp

石川県織ネーム工業株式会社

代表取締役 北村和生

〒923-0802 小松市上小松町乙39番地2
TEL(0761)22-6303 FAX(0761)21-3667



SHIBAZUSHI

〒920-0378 金沢市いなほ2丁目4番地

TEL: (076) 240-4569

FAX: (076) 240-4844

<https://www.online-shibazushi.com>

令和8年1月1日



有限会社 ジョアン

フレッシュベイク本店 金沢市三ツ屋町口2-3 TEL 076-237-7577
フレッシュベイク野々市店 野々市市三納1-9 TEL 076-246-7715
フレッシュベイク入江店 金沢市入江2-341 TEL 076-259-6621

能登ワイン株式会社

代表取締役 村山 隆

〒927-0006 石川県鳳珠郡穴水町字旭ヶ丘り5番1
TEL(0768) 58-1577 FAX(0768) 58-1588

テックワン株式会社

代表取締役会長 竹田 忠彦

代表取締役社長 北市 幸男

〒929-0124 能美市浜町ヌー161-4 TEL(0761) 55-0761

株式会社 金沢東急ホテル

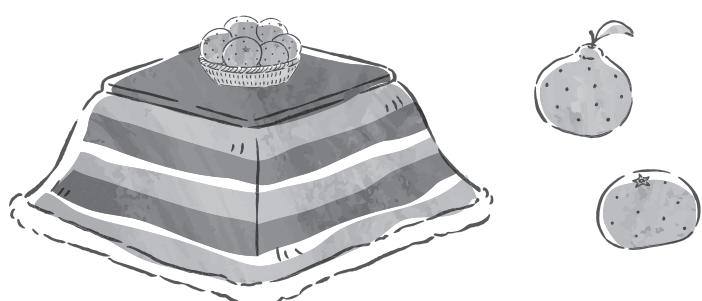
執行役員 総支配人 堂田 達矢

〒920-0961 金沢市香林坊2-1-1
TEL(076) 231-2411 FAX(076) 263-0154

伐木作業一式又は枝取り

株式会社 富樺

TEL(076) 241-9676



令和8年1月1日

ホテル日航金沢

一期一縁のおもてなし。



ホテル日航金沢
hotel nikko kanazawa

〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1 (JR金沢駅兼六園口前) TEL 076-234-1111 www.hnkanazawa.jp

きっとみつかる いい人、いい仕事

失業なき労働移動の実現をめざす再就職・出向の専門機関
(無料職業紹介事業)



公益財団法人産業雇用安定センター

石川事務所長 中村 弘樹

〒920-0869 金沢市上堤町1-12 金沢南町ビル4階
TEL 076-261-6047 <https://www.sangyokoyo.or.jp>



サイジョブさん

石川県職業能力開発協会は、技能検定試験等を通じて、
ものづくり技能人材の育成と若年技能者の確保に努めます。

石川県職業能力開発協会

会長 中村 健一

〒920-0862 金沢市芳斎1丁目15番15号 TEL (076) 262-9020 FAX (076) 262-3913
<http://www.ishivada.com>



令和8年1月1日

石川県中小企業団体事務局協議会

会長 村田 純一
副会長 飴谷 義博
副会長 岡田 和典
副会長 守口 佐一郎
副会長 小林 与志次

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5F
TEL(076)267-7711 FAX(076)267-7720

石川県中小企業青年中央会

会長 長坂 慎太郎
副会長 小竹 真介
副会長 神保 賢史
副会長 吉村 浩史

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5F
TEL(076)267-7711 FAX(076)267-7720 E-mail: seichu@icnet.or.jp

石川県中小企業団体中央会女性部

会長 泉崎 富子
副会長 林 恵子
副会長 三谷 則子

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5F
TEL(076)267-7711 FAX(076)267-7720

From 編集室

こんにちは！早いもので2025年が終わり新たな年が始まりました。皆さんは今年1年をどんな年にしたいでしょうか？家族、仕事、趣味など様々ありますが、私はそれぞれにおいて目標を掲げ、2026年を突っ走っていきたいと思います。まずは、この年末年始の間に体について脂肪を落とすため、正月から筋トレを頑張りたいと思います！目指せベンチプレス120kg！

編集者 T-中村

Q プレゼントクイズ

今回は、「T-中村」が好きな筋トレメニュー（ウェイトトレーニング法）のランキングベスト4をお考えいただき、その後、【答え】の箇所に「イ」「ロ」「ハ」「ニ」を当てはめると、今回のプレゼントクイズの回答が分かります。

Q.2026年1月4日、東京ドームで行われる大会をもって引退する棚橋弘至選手は、「新日本〇〇〇〇」の選手です。（ひらがなでご回答ください）

※棚橋選手は、昨年8月に石川県観光大使にも就任しております。

<筋トレランキング>

1位：上半身を鍛えるウェイトトレーニングの種目。主に大胸筋、上腕三頭筋、三角筋前部が鍛えられる。

ベ			イ		
---	--	--	---	--	--

2位：ダンベルを使い、背中の筋肉である広背筋を収縮させ鍛えるトレーニング。

ワ		ハ		ロ	ウ
---	--	---	--	---	---

【答え】

イ	ロ	ハ	ニ
---	---	---	---

3位：専用のマシンなどを使い、ハムストリングスの筋肉を鍛えるトレーニング。

ハ		グ	力		
---	--	---	---	--	--

4位：直立した状態から膝関節の屈曲・伸展を繰り返す運動で、下半身、特に大腿四頭筋・下腿三頭筋・大臀筋・中臀筋などを鍛える。筋トレBIG3の1つ。

ニ				
---	--	--	--	--

正解者の中から抽選で、中央会事業にちなんだ品物をお贈りいたします。

締め切りは1月16日（金）！ご回答お待ちしております！

今後、よりよい誌面づくりを行うために読者の皆様からのご意見、ご要望をお伺いしたいと思いますので、同封のプレゼント付き読者アンケートのご協力をお願ひいたします。右記の二次元バーコードでの回答または同封アンケートをFAXで中央会までお送りください。少しでも多くの“声”をお待ちしています。

 紙アンケート FAX:076-267-7720 までお送りください。

 WEB回答
スマートフォンで
読み取り、ご回答
お願いします。



日本経済の岩盤力「中小企業」を守り、この岩盤力をさらに強固にする「中小企業組織」を支援する
～全国中小企業団体中央会の損害保険団体補償制度～

全国中小企業団体中央会の
損害保険団体補償制度の主要制度である
「業務災害補償制度」と「ビジネス総合保険制度」で

事業活動リスクを 包括的にカバー します。

企業経営には
多くのリスクが
存在しています

労災訴訟
のリスク

労務災害
のリスク

事業休業
のリスク

賠償責任
のリスク

財物損害
のリスク



業務災害補償制度

新しい労災リスクから会員の皆様をお守りする
業務災害補償制度の特徴

ビジネス総合保険制度

事業活動を取り巻く様々なリスクから
会員の皆様をお守りする
ビジネス総合保険制度の特徴

- 全国中小企業団体中央会のスケールメリットによる
割安な保険料水準
一般加入と比べ約半額の掛金水準
- 労災賠償に備える**「使用者賠償責任保険」を標準セット**
- 政府労災保険の給付を待たずに**保険金のお支払いが可能**
政府労災保険への加入が必要です。(使用者賠償責任保険は給付決定後の支払いになります)
- 契約は無記名式。**短期労働者やパート・アルバイトも包括補償**
- 掛金は売上高と業種で算出**掛金は全額損金算入可能**

- 全国中小企業団体中央会のスケールメリットによる
割安な保険料水準
- 会員事業者を取り巻くリスクに対する補償のモレ・ダブリを解消し、**一本化してご加入**
- 賠償責任(PL、リコール、情報漏えい、施設・事業遂行等)
リスクを総合的に補償
- 事業休業補償により災害に遭った際の
事業継続のための資金を確保

本内容は業務災害補償制度およびビジネス総合保険制度の概要を示したもので、実際の加入および詳細は引受保険会社の約款、パンフレット等に従います。
全国中小企業団体中央会の損害保険団体補償制度としては、上記の他に、所得補償制度(病気や怪我による休業への備え)・取引信用保険制度(連鎖倒産リスクへの備え)・海外知財訴訟費用保険制度(海外における知財訴訟リスクへの備え)がございます。

お問い合わせ先

石川県中小企業団体中央会
〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5階
TEL : 076-267-7711 / FAX : 076-267-7720
お見積り、ご入手手続きは引受保険会社にお問い合わせください。

制度引受保険会社(制度参入順)

東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社
三井住友海上火災保険株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社

制度運営

全国中小企業団体中央会